

#

Attorney Docket No. 1086.1152

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Patent Application of:

Ritsuko TANAKA, et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: December 5, 2001

Examiner:

31000 U.S. PTO  
10/001992  
12/05/01

For: ADVERTISING SERVER, METHOD, PROGRAM AND RECORDING MEDIUM

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN  
APPLICATION IN ACCORDANCE  
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-246961

Filed: August 16, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: December 5, 2001

By:

  
James D. Halsey, Jr.  
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500  
Washington, D.C. 20001  
(202) 434-1500

# **PATENT OFFICE JAPANESE GOVERNMENT**

**This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with the Office.**

**Date of Application : August 16, 2001  
Application Number : Patent Application No. Heisei 2001-246961  
Applicant (s) : FUJITSU LIMITED**

**October 19, 2001**

**Commissoner, Kohzoh Oikawa  
Patent Office**

**Certificate No. Toku 2001-3092907**

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

11000 U.S.  
10/001992  
12/05/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application: 2001年 8月16日

出 願 番 号

Application Number: 特願2001-246961

出 願 人

Applicant(s): 富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年10月19日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造

出証番号 出証特2001-3092907

【書類名】 特許願

【整理番号】 0151319

【提出日】 平成13年 8月16日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明の名称】 広告サーバ、方法、プログラム及び記録媒体

【請求項の数】 5

【国際特許分類】 G06F 15/21

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 田中 律子

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 鶴田 徹

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 熊本 乃親

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 田中 竜太

【特許出願人】

    【識別番号】 000005223

    【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100079359

    【弁理士】

【氏名又は名称】 竹内 進

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009287

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704823

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 広告サーバ、方法、プログラム及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 サービスを提供している提供者と契約している利用者を登録したデータベースと、

広告元から依頼された広告を作成し、第 2 サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成部と、

利用者情報を入力してデータベースの前記第 1 サービスの契約利用者と判定した場合に、前記ウェブページの広告を公開して前記第 2 サービスを提供する広告利用部と、

を備えたことを特徴とする広告サーバ。

【請求項 2】

サーバを用いた広告方法に於いて、

第 1 サービスを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録する登録ステップと、

広告元から依頼された広告を作成し、第 2 サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの前記第 1 サービスの契約利用者と判定した場合に、前記ウェブページの広告を公開して前記第 2 サービスを提供する広告利用ステップと、

を備えたことを特徴とする広告方法。

したリンク要求に基づき、公開している広告元のウェブページリンクすることを特徴とする広告方法。

【請求項 3】

サーバとして機能するコンピュータに、

第 1 サービスを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録する登録ステップと、

広告元から依頼された広告を作成し、第 2 サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの前記第 1 サービスの契約利用者と判定した場合に、前記ウェブページの広告を公開して前記第 2 サービスを提供する広告利用ステップと、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 4】

新聞販売店のサーバとして機能するコンピュータに、

少なくとも新聞販売店と購読契約している契約者をデータベースに登録する登録ステップと、

広告元から依頼された広告を作成してウェブページに掲載する広告作成ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの契約者と判定した場合に前記ウェブページの広告を公開して閲覧させる広告利用ステップと、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 5】

サーバとして機能するコンピュータに、

第 1 サービスを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録する登録ステップと、

広告元から依頼された広告を作成し、第 2 サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの前記第 1 サービスの契約利用者と判定した場合に、前記ウェブページの広告を公開して前記第 2 サービスを提供する広告利用ステップと、

を実行させるプログラムを格納したコンピュータ可読の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、インターネットを活用して広告を閲覧可能とする地域密着型の広告システムを構築するための広告サーバ、方法、プログラム及び記録媒体に関し、特に新聞販売店のサーバにより購読利用者を対象に広告サービスを提供する広告サーバ、方法、プログラム及び記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の新聞販売店を利用した広告システムとしては図36のものがある。通常、新聞販売店200は配達可能な比較的限られた一定の地域毎に設置されており、地域社会と強く密着している。

【0003】

新聞販売店200による広告は、チラシ広告を新聞に折り込んで配布する折込広告である。新聞販売店200の営業地域にある小売店等の広告元204は、広告元自身又は広告作成代行業者206に依頼して紙印刷により広告を作成し、新聞販売店200に折込広告として配布を依頼する。

【0004】

新聞販売店200では、依頼された広告を仕分け部門212で仕分けを行い、折り込み作業部門214で手作業又は機械により折り込み作業を行う。機械を使用する場合は、一定部数を機械にセットし、確認部門216で正常に終了したことを確認したら再度機械へのセットを行うという作業を繰り返し、新聞への折り込み作業を行う。作業が終了したら、新聞配達員は折り込み広告が折り込まれた新聞を各契約者208に配達する。

【0005】

また地域密着型のインターネットを利用した広告システムとして、最近、利用



者が郵便番号を入力することで、閲覧したい地域の広告等を閲覧できるインターネットチラシサービス「オリコミーオ！（R）」の運用が一部地域を対象に開始されている（<http://www.dnp-orikomio.com/CGI/pilot/home.cgi>）。

【0006】

これは小売店等の広告元が広告料を支払って登録した広告や求人案内等を3日間ウェブページで配信し、一般の利用者および登録している利用者が無料で閲覧するシステムであり、地域密着型の広告システムとして期待されている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、現在のインターネットチラシサービスにあっては、ウェブページの運営料及び広告料を全て広告元が負担するシステムとなっており、広告掲載コストが高くなる恐れがある。また、従来より地域の小売店の広告等の情報は、新聞の折込広告で得るという習慣が確立されているため、広告元としては、別途インターネットチラシサービスに広告料を負担して掲載してみようとするニーズは必ずしも強くない。

【0008】

このため新規にインターネットチラシサービスを立ちあげた場合、地域の小売店等との新規契約を結び、利用者を拡大してネットワークを作り上げていくのには、相当な労力、時間及び費用が必要であり、またシステムとして採算のとれた運用ができるかの見通しも立ちにくい。

【0009】

更にインターネットチラシサービスが例えば関西地区といった広い地域をカバーするようになると、規模の大きな広告元は郵便番号で指定される全地域を対象に広告掲載を行うこととなり、同じ地域のウェブページに地元の小売店と同時に規模の大きな広告元のチラシ広告が並べて掲載されることとなる。これでは地域に密着した生活情報を提供するというチラシサービス本来の意図が損なわれ、結局は地元小売店等によるインターネットチラシサービスは普及することなく終わる可能性が高い。

【 0 0 1 0 】

本発明は、インターネットを利用した地域密着型の広告システムを確実に立ち上げて運用できる広告サーバ、方法、プログラム及び記録媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 1 1 】

また本発明は、新聞販売店が扱っている既存の新聞折込みによる広告システムに着目し、インターネットを利用した地域密着型の広告システムを確実に立ち上げて運用できる新聞販売店用の広告サーバ、方法、プログラム及び記録媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】

図 1 は本発明の原理説明図である。

【 0 0 1 3 】

本発明の広告サーバは、第 1 サービスを提供している提供者と契約している利用者を登録したデータベースと、広告元から依頼された広告を作成し、第 2 サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成部と、利用者情報を入力してデータベースの第 1 サービスの契約利用者と判定した場合に、ウェブページの広告を公開して前記第 2 サービスを提供する広告利用部とを備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

特に本発明の広告サーバ 1 0 は、少なくとも新聞販売店と購読契約（第 1 サービス）している契約者を登録した契約者データベース 2 8 と、広告元から依頼された広告（第 2 サービス）を作成して広告ウェブページ 2 4 に掲載する広告作成部 2 2 と、利用者情報を入力してデータベースの契約者と判定した場合にウェブページ 2 4 の広告を公開して閲覧させる広告利用部 2 6 とを備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

このように本発明は、新聞販売店と取引している広告元及び新聞の配達ヲ受

けている購読者を対象に新聞販売店が広告サーバを運用してインターネットを利用した広告システムを構築するため、即ち新聞購読という第1サービスを前提にインターネットを利用した広告閲覧という第2サービスを提供するため、短期間で広告元と利用者を特定した地域密着型の広告システムを確実に立ち上げて運用に入ることができる。

## 【0016】

また広告サーバの運用に必要な費用は、広告元からの広告収入を基本とするが、新聞購読を行っている利用者也購読料という形で負担しており、購読料の一部を広告システムの運用による購読者の拡大を通じてシステムの運用に振り分けることもできる。

## 【0017】

また、1つの新聞販売店の配達地域は、物理的な距離と時間などにより決まっており、インターネットを利用した広告システムであっても、折込広告を依頼する広告元は、配達地域もしくはその周辺に限られることとなり、広い地域を対象とした広告は、もともと新聞広告として提供されており、必然的に地域に密着した従来の折込広告としての簡便さ、地域性、及び広告コストの安さを適切に継承することができる。

## 【0018】

また本発明は、広告を掲載したウェブページは、原則として新聞販売店のデータベースに登録されている契約利用者に制限され、新聞を購読している利用者のみが新聞販売店のサーバによる掲載広告を閲覧できるメリットを享受する。このような利用者制限は、新聞購読契約を前提に広告サービスを行っていることからできるものであり、新聞を購読していない非契約利用者との差別化が図れる。そして、この差別化は、新聞購読契約の新規獲得を促すことにつながる。

## 【0019】

また本発明で広告閲覧を新聞購読の契約利用者に制限する点が、従来のオリコミーオ！（R）のような広告元が費用を全て負担し、利用者については無料とせざるを得ない広告システムとの基本的な相違であり、これにより地域密着型のインターネットを利用した広告システムを確実に立上げて運用に移行することがで

きる。

【0020】

ここで広告サーバの広告作成部22は、広告元からの電子媒体広告を入力してウェブページに掲載すると共に、広告元からの紙媒体広告を電子化してウェブページに掲載する。また広告作成部22は、広告元から依頼された広告の作成又は広告元のウェブページを作成することもできる。この電子媒体広告には静止画像だけでなく動画像や音声をしようした広告も含まれる。

【0021】

広告サーバの広告利用部26は、利用者がウェブページの広告を閲覧した際に、新聞販売店又は広告元による特典を閲覧した利用者に付与する。このように利用者が広告を閲覧すると、新聞販売店や広告元から割引サービスやポイントサービスなどの特典を受けることができるので、広告元に対する広告効果を高めることができる。

【0022】

広告サーバの広告利用部26は、利用者の指定した希望する広告選択情報を記憶し、広告選択情報に対応する広告をメールまたはFAXで配信する。このため利用者は、サーバに対し広告の新着情報やジャンルといった希望する広告の選択情報を指定しておくことで、希望する広告をメールまたはFAXで受信してサーバにアクセスすることなく容易に知ることができる。

【0023】

広告サーバの広告利用部26は、利用者の指定したリンク要求に基づき、公開している広告元のウェブページにリンクする。これによって広告元の詳細を知って適切な広告内容の判断ができる。また広告元は利用者の指定したリンクに対し新聞販売店に依頼することなく広告内容を変更したり追加できる。

【0024】

広告利用部26は、利用者の指定したリンク要求に基づき、異なる地域の同一系列の新聞販売店で管理している広告サーバのウェブページにアクセスする。これによって異なる地域の広告情報も必要に応じて入手できる。

【0025】

広告サーバの広告利用部 2 6 は、利用者の指定した広告選択情報に基づいて利用者専用のウェブページを自動編集して保存するか又は利用者装置に対しダウンロードする。このように利用者の指定により自動編集された広告ページがサーバから利用者クライアントなどの装置、例えば携帯端末にダウンロードされることで、利用者はサーバにアクセスすることなく、その後、買物に行った時など、いつでも携帯端末の広告ページを閲覧することができる。

## 【 0 0 2 6 】

広告サーバの広告利用部 2 6 は、利用者の指定した広告選択情報を保存し、利用者から閲覧要求を受けた際に、保存している広告選択情報に基づいて利用者専用のウェブページを自動編集して閲覧させる。このため利用者は必要なジャンルなどの指定によりサーバ上に自分専用の広告ページを構築して閲覧できる。

## 【 0 0 2 7 】

広告サーバの広告作成部 2 2 はウェブページに掲示板やリンク集などの広告以外の地域情報を掲載し、広告利用部 2 6 はデータベースの契約利用者及び非契約利用者に地域情報を公開する。このように本発明は、地域密着型としての特性を利用し、広告のみならず地域の公的なお知らせを掲載する掲示板や公的機関のリンク集などの地域情報を掲載し、地域社会の情報窓口としての活用も図る。この地域情報については、契約利用者のみならず非契約利用者にも公開し、広い利用を促す。

## 【 0 0 2 8 】

広告サーバの広告利用部 2 6 は、データベースに登録されていない非契約利用者の閲覧要求を判定した際に、新聞購読契約の申込ページを提示する。これによって広告閲覧サービスの閲覧を希望している非契約利用者に対し、新聞購読の新規契約が期待でき、販路拡大に繋がる。

## 【 0 0 2 9 】

また広告サーバの広告利用部 2 6 は、データベースから契約更新の対象となる契約利用者を検索し、ウェブページの閲覧時に契約更新の必要性を表示する。これによって契約更新のための利用者宅への訪問を減らすことができ、また更新を前もって知らせておくことで、訪問した際の更新がスムーズにできる。

## 【 0 0 3 0 】

広告サーバの広告利用部 2 6 は、利用者の指定した現在地と広告元を示す目的地を含む案内地図の作成要求に基づき、現在地から目的地までの経路を示した案内地図を作成してウェブページに公開するか、または利用者装置に対しダウンロードする。このため広告元の手間も減らすことができる。

## 【 0 0 3 1 】

広告サーバの広告利用部 2 6 は、利用者から広告商品の注文要求を広告元装置に注文情報として送信し、送信後に注文商品の配達から受取りまでを管理する。これによって利用者は注文した商品を新聞販売店で受取ることが可能となり、また新聞販売店に商品の配達を依頼することもでき、新聞販売店は商品配達という新規業務を展開できる。特に配達員は地域の地理に詳しいことから、注文商品の配達を新聞の配達に併せて迅速且つ確実に行うことができる。

## 【 0 0 3 2 】

広告サーバの広告利用部 2 6 は、利用者からの要求に基づき、ウェブページの掲載広告を紙媒体に印刷出力して配布させる。このため利用者は必要な広告を従来と同様、紙媒体による折込広告として受取ることができる。

## 【 0 0 3 3 】

広告サーバの広告利用部 2 6 は、利用者による広告閲覧毎にデータベースに閲覧情報を登録し、広告掲載から所定期間後にデータベースの検索により広告利用状況を調査して調査結果を広告元装置に通知すると共に、調査結果に基づいて広告掲載料金を決定して清算する。

## 【 0 0 3 4 】

このため広告元は調査結果のフィードバックを受けて広告効果を確認し、次の広告掲載や販売戦略等に活用できる。また新聞販売店は、調査結果から十分な広告効果が出たことが確認できた場合には、広告元に対し追加広告料を請求するといった成功報酬的な料金体系をとることもできる。

## 【 0 0 3 5 】

本発明は、サーバを用いた広告方法を提供する。この広告方法は、第 1 サービ

スを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録する登録ステップと、広告元から依頼された広告作成し、第2サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成ステップと、利用者情報を入力してデータベースの第1サービスの契約利用者と判定した場合に、ウェブページの広告を公開して第2サービスを提供する広告利用ステップと、を備えたことを特徴とする。

## 【 0 0 3 6 】

特に本発明は、新聞販売店のサーバを用いた広告方法を提供するものであり、少なくとも新聞販売店と購読契約している契約者をデータベースに登録する登録ステップと、広告元から依頼された広告作成してウェブページに掲載する広告作成ステップと、利用者情報を入力してデータベースの契約者と判定した場合に前記ウェブページの広告を公開して閲覧させる広告利用ステップと、を備えたことを特徴とする。この広告方法の詳細は広告サーバと基本的に同じになる。

## 【 0 0 3 7 】

本発明は、インターネットを利用した広告サービスのためにコンピュータにより実行されるプログラムを提供する。このプログラムは、サーバとして機能するコンピュータに、第1サービスを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録する登録ステップと、広告元から依頼された広告作成し、第2サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成ステップと、利用者情報を入力してデータベースの第1サービスの契約利用者と判定した場合に、ウェブページの広告を公開して第2サービスを提供する広告利用ステップと、を実行させることを特徴とする。

## 【 0 0 3 8 】

特に本発明のプログラムは、新聞販売店のサーバとして機能するコンピュータに、少なくとも新聞販売店と購読契約している契約者をデータベースに登録する登録ステップと、広告元から依頼された広告作成してウェブページに掲載する広告作成ステップと、利用者情報を入力してデータベースの契約者と判定した場合に前記ウェブページの広告を公開して閲覧させる広告利用ステップと、を実行させることを特徴とする。このプログラムの詳細は広告サーバと基本的に同じにな

る。

#### 【 0 0 3 9 】

本発明は、インターネットを利用した広告サービスのためにコンピュータにより実行されるプログラムを格納したコンピュータ可読の記録媒体を提供する。この記録媒体に格納されたプログラムは、サーバとして機能するコンピュータに、第1サービスを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録する登録ステップと、広告元から依頼された広告作成し、第2サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成ステップと、利用者情報を入力してデータベースの第1サービスの契約利用者と判定した場合に、ウェブページの広告を公開して第2サービスを提供する広告利用ステップと、を実行させる。

#### 【 0 0 4 0 】

特に本発明の記録媒体に格納されたプログラムは、新聞販売店のサーバとして機能するコンピュータに、少なくとも新聞販売店と購読契約している契約者をデータベースに登録する登録ステップと、広告元から依頼された広告作成してウェブページに掲載する広告作成ステップと、利用者情報を入力してデータベースの契約者と判定した場合にウェブページの広告を公開して閲覧させる広告利用ステップと、を実行させる。この記録媒体の詳細は広告サーバと基本的に同じになる。

#### 【 0 0 4 1 】

##### 【発明の実施の形態】

図2は本発明による新聞販売店を利用した広告システムのシステム構成のブロック図である。本発明の広告システムは、新聞販売店に設置される新聞販売店サーバ（広告サーバ）10、広告元に設置される広告元コンピュータ14、広告作成代行業者に設置される広告作成代行コンピュータ16、新聞購読の契約者または非契約者の保有する利用者クライアント18-1, 18-2, ... 18-nで構成され、これらの装置はインターネット12を介して接続されている。

#### 【 0 0 4 2 】

新聞販売店サーバ10には、通信プロトコル処理部20、広告作成部22、広



告ウェブページ 2 4、広告利用部 2 6、契約者データベース 2 8 及び利用データベース 3 0 が設けられている。

【 0 0 4 3 】

本発明の広告システムは、新聞販売店と購読契約している契約者のみが新聞販売店サーバ 1 0 により提供される広告ウェブページ 2 4 にアクセスできる仕組みを持っている。

【 0 0 4 4 】

即ち新聞販売店は、新聞の販売契約に基づいて契約者に新聞の配達業務を日常的に行っており、この購読契約が本発明による広告システムの新聞販売店サーバ 1 0 における広告ウェブページ 2 4 の契約利用者となり、この契約利用者は契約者データベース 2 8 に登録されている。

【 0 0 4 5 】

このため本発明の広告システムを立ち上げる際には、新聞販売店が保有している新聞購読を行っている契約者のリストに基づいて契約者データベース 2 8 を作成してサーバに登録する。

【 0 0 4 6 】

図 3 は、図 2 の契約者データベース 2 8 の一例である。契約者データベース 2 8 には I D に続いて、契約者に広告ウェブページ 2 4 をアクセスするためのアカウント名とパスワードが登録される。続いて新聞の購読契約に基づいた契約期間、利用者の氏名、住所、電話番号や F A X 番号などの利用者の属性情報が必要に応じて登録されている。

【 0 0 4 7 】

再び図 2 を参照するに、広告作成部 2 2 は広告元の依頼に基づいて電子媒体広告を作成し、広告ウェブページ 2 4 に掲載する。この電子媒体広告は、静止画像、動画像、音声を含むマルチメディアの媒体を対象とする。

【 0 0 4 8 】

広告利用部 2 6 は、利用者クライアント 1 8 - 1 ~ 1 8 - n からのアクセスによる利用者情報を参照して、契約者データベース 2 8 の契約者と判定した場合に広告ウェブページ 2 4 の広告を公開して閲覧させる。この広告利用部 2 6 には利

用データベース 30 が接続されており、利用者による広告ウェブページ 24 の利用状況、例えば広告の閲覧回数などの情報を登録している。

## 【 0 0 4 9 】

図 4 は、図 2 の利用データベース 30 の一例であり、広告ウェブページ 24 の電子媒体広告ごとに付けられた広告 ID に対応して、広告元、掲載期間、広告料金が登録され、続いて利用者の閲覧による閲覧回数と、広告閲覧者に対する特典として新聞販売店または広告元が与える割引サービスやポイントサービスなどの特典利用情報などを登録している。この利用データベース 30 は、後の説明で明らかにする広告利用部 24 による広告利用状況の調査に使用される。

## 【 0 0 5 0 】

図 5 は、図 2 の新聞販売店サーバ 10 による概略処理のフローチャートである。新聞販売店サーバ 10 は、ステップ S1 で広告作成処理を行い、続いてステップ S2 で広告利用処理を行い、ステップ S3 で広告調査処理を行い、これを繰り返している。

## 【 0 0 5 1 】

図 6 は、図 5 におけるステップ S1 の広告作成処理の詳細である。広告作成処理は、ステップ S1 で広告元からの広告申込みを受け付ける。続いてステップ S2 で、申込みを受けた広告が電子媒体広告か否かチェックする。電子媒体広告であれば、ステップ S4 でウェブページ掲載処理を実行する。電子媒体広告ではなく紙媒体広告であった場合には、紙媒体広告をステップ S3 で電子化した後に、ステップ S4 でウェブページ掲載処理を実行する。

## 【 0 0 5 2 】

図 7 は、図 6 の広告作成処理に対応したシステム機能の説明図である。新聞販売店サーバ 10 には広告作成部 22 の機能として、電子化部 32、ウェブページ掲載部 34 及び広告／ウェブ作成代行部 36 が設けられている。広告元の広告元コンピュータ装置 14 は、広告申込みを作成した電子媒体広告で行う場合には、新聞販売店サーバ 10 にアクセスし、広告作成部 24 のウェブページ掲載部 34 により電子媒体広告を広告ウェブページ 24 に掲載する。

## 【 0 0 5 3 】

また広告元は紙媒体広告による申込みを行った場合には、新聞販売店において新聞販売店サーバ10の広告作成部24に設けている電子化部32により紙媒体広告を電子媒体広告に変換し、これをウェブページ掲載部34によって広告ウェブページ24に掲載する。

【0054】

更に、新聞販売店サーバの広告作成部24には広告／ウェブ作成代行部36が設けられている。広告／ウェブ作成代行部36は、例えば広告元から広告申込みを受けた際に、申込み内容に応じてサーバ内で広告元の電子媒体広告を作成し、これをウェブページ掲載34により広告ウェブページ24に掲載することができる。

【0055】

更に広告／ウェブ作成代行部36は、広告元からその専用ウェブページ38の作成依頼を受けることができ、この場合にも作成したウェブページを広告元コンピュータ14に送って専用ウェブページ38を掲載させることができる。

【0056】

図8は、図5のステップS2の新聞販売店サーバ10における広告利用処理のフローチャートである。この広告利用処理は、図2の新聞販売店サーバ10に設けている広告利用部26が実行する。

【0057】

ステップS1で利用者クライアントから閲覧請求があると、ステップS2で利用者情報を入力する。この利用者情報はログイン名とパスワードを使用している。続いてステップS3でログイン名及びパスワードによって契約者データベース28を参照して照合判定する。

【0058】

続いてステップS4で契約者であることを判定すると、ステップS5の契約者利用処理を実行する。一方、非契約者であった場合には、ステップS6の非契約者利用処理を行うことになる。

【0059】

図9は、図8の広告利用処理におけるシステム機能の説明図である。新聞販売

店サーバ10に対しては、インターネットを介して契約者の利用者クライアント18-1はもちろんのこと、非契約者の利用者クライアント18-iもアクセスすることができる。

## 【0060】

このような利用者クライアント18-1, 18-iのアクセスに対し、新聞販売店サーバ10は、まず図10(A)に示すようなパスワード入力画面40をクライアント側に表示させる。このパスワード入力画面40にはログイン名とパスワードの入力を要求する。

## 【0061】

このため契約者にとっては、ログイン名及びパスワードを予め受けていることから、ログイン名及びパスワードを入力して利用者情報として新聞販売店サーバ10に送る。

## 【0062】

これに対し非契約者にとっては、ログイン名及びパスワードを持たないことから、パスワード入力画面40に適当な入力あるいは入力せずに送信を実行すると、図10(B)のような非契約利用者に対するメッセージ画面42に切り替わる。このメッセージ画面42においては、広告ウェブページがアクセスできないことと契約利用者による入力ミスに対応するため、図10(A)のパスワード入力画面40に戻るための再入力操作と、非契約利用者に対し購読契約ができるようにするための契約申込み画面への切替操作が示される。この契約申込み画面は、後の説明で明らかにする図31のような画面となる。

## 【0063】

図11, 図12及び図13は、図8のステップS5における契約者利用処理の詳細を示したフローチャートである。本発明の新聞販売店サーバ10に設けた広告利用部26による契約利用者処理は、次の項目を提供している。

- (1) 広告閲覧
- (2) 特典付与
- (3) 広告配信
- (4) 広告元リンク

- (5) 広域リンク
- (6) 利用者広告の自動編集
- (7) 地域情報
- (8) 案内地図作成
- (9) 商品注文
- (10) 紙媒体広告の配送

このような本発明による契約利用者処理の各項目を詳細に説明すると次のようになる。

【0064】

(1) 広告閲覧

図11のステップS1は、契約利用者のアクセスによって選択した広告の閲覧処理である。この広告閲覧は、図14(A)のように、利用者クライアント18に新聞販売店サーバ10における広告ウェブページのメニュー44をまず掲載する。この広告メニュー画面44を見て、例えば利用者が「スーパーD」を選択したとすると、図14(B)の広告元「スーパーD」の広告画面46を利用者クライアント18に表示する。この例ではスピーカ45より音声による案内も同時に出している。

【0065】

再び図11を参照するに、ステップS1で選択した利用者クライアントにおける広告閲覧処理を行ったならば、続いてステップS2で図4に示す利用データベース30における閲覧した広告に対応する閲覧回数をカウントアップする利用データベースの登録を行う。

【0066】

(2) 特典付与

図11のステップS3, S4は、利用者の広告閲覧に対する特典処理である。ステップS1で利用者が選択した広告について、ステップS3で特典の有無をチェックする。特典があれば、ステップS4で利用者に特典を提供する。

【0067】

図15は利用者に対する特典処理のシステム機能の説明図である。契約者がそ

の利用者クライアント 1 8 - 1 により新聞販売店サーバ 1 0 の広告ウェブページ 2 4 を閲覧すると、閲覧した広告について設定されている特典を受けることができる。利用者に対する広告閲覧による特典は、新聞販売店及びまたは広告元による割引サービスやポイントサービスがある。

## 【 0 0 6 8 】

図 1 6 は広告元による利用者に対する特典処理の一例である。この特典処理にあっては、新聞販売店サーバ 1 0 側は利用者に対し契約者であることを証明するために、例えば IC など内蔵した証明者証明カード、あるいは契約者の携帯端末などに契約者であることを証明する契約者証明データをダウンロードしている。この契約者証明データには読み書き可能な専用のメモリ領域を割り当てる。

## 【 0 0 6 9 】

利用者クライアント 1 8 にあっては、新聞販売店サーバ 1 0 に対する広告閲覧で割引サービスまたはポイントサービスを受けた場合には、これらのサービスを契約者証明カードもしくは契約者証明データにダウンロードし、これを広告元の広告元コンピュータ 1 4 側に提示することで特典サービスを受けることができる。

## 【 0 0 7 0 】

広告元コンピュータ 1 4 にあっては、ステップ S 1 で利用者の契約者証明カードまたは契約者証明データを入力し、ステップ S 2 で記憶部 4 8 にアクセスして契約者か否かチェックする。記憶部 4 8 としては、図 2 の新聞販売店サーバ 1 0 に設けている契約者データベース 2 8 の内容と同じであってもよいし、また契約者データベースのデータを持たずに新聞販売店サーバ 1 0 に問い合わせして契約者判定を行ってもよい。

## 【 0 0 7 1 】

ステップ S 2 の契約者判定により契約者であれば、ステップ S 3 で割引精算やポイント加算などの特典処理を実施する。契約者でなかった場合、即ち非契約者については、ステップ S 4 で通常販売を行うことになる。更に、ステップ S 3 で実施した特典の内容は記憶部 4 8 に記憶され、この特典実施の内容は必要に応じて新聞販売店サーバ 1 0 に転送され、図 4 のように利用データベース 3 0 の特典

利用情報として保存される。

【 0 0 7 2 】

(3) 広告配信

図 1 1 のステップ S 5 ～ S 7 は、利用者の指定した広告選択情報に基づいて電子メールや F A X により掲載広告を配信する処理である。ステップ S 5 で利用者からの広告配信要求を判別すると、ステップ S 6 に進み、利用者による指定した広告の選択情報と配信の期間を入力し、ステップ S 7 でこれらの選択情報と配信期間に基づいて、電子メールもしくは F A X により掲載広告の利用者クライアントに対する広告配信処理を実行する。

【 0 0 7 3 】

図 1 7 は広告配信処理のシステム機能の説明図である。利用者クライアント 1 8 は新聞販売店サーバ 1 0 の広告ウェブページ 2 4 を閲覧する際に広告選択情報及び配信期間を指定し、これを受けて新聞販売店サーバ 1 0 から利用者クライアント 1 8 に対し指定された選択情報に従った広告ウェブページ 2 4 の広告のメールもしくは F A X による自動配信を行う。

【 0 0 7 4 】

図 1 8 (A) はクライアント 1 8 に表示される広告配信選択画面 5 0 であり、この選択画面を見て利用者は、自分が希望する広告を例えば「大型店舗」、「E 八百屋」のように選択する。この希望広告の選択と同時に、配信期間として新着時や一週間ごとといったメール配信を希望する間隔を希望することができる。更に、広告自体を配信するだけではなく、広告更新情報のみを配信することも可能である。

【 0 0 7 5 】

このような利用者による広告選択情報に基づき、図 1 8 (B) のように新聞販売店サーバ 1 0 は、指定内容に応じて申込みを行った利用者クライアント 1 8 に対し希望広告 5 2 をメール配信する。また、メール配信を受けている途中で利用者クライアント 1 8 側から希望広告や配信間隔などの修正を行うこともできる。

【 0 0 7 6 】

このように利用者は、広告配信を要求しておくことで、新聞販売店サーバ 1 0

にアクセスすることなく自動的に自分が希望した広告を電子メールあるいはFAXで受信することができ、新聞販売店で掲載している電子媒体広告の効果的な利用と活用ができる。

## 【0077】

また、このような利用者による希望広告の指定情報は、新聞販売店及び広告元にとって利用者がどのような広告もしくは商品を希望しているかの利用者情報の収集に役立ち、この利用者による広告選択情報による広告配信の利用状況を利用データベース30に登録しておくことで、広告元に対する広告効果の調査に活用できる。

## 【0078】

## (4) 広告元リンク

図11のステップS8、S9は、利用者による広告元のウェブページへのリンク処理である。ステップS8で利用者による広告ウェブページの閲覧について広告元へのリンク要求を受けると、ステップS9で広告元へのリンク処理を行うことになる。

## 【0079】

図19は、この広告元リンク処理のシステム機能の説明図である。広告元コンピュータ14にあっては、専用のウェブページ30を公開しており、この専用ウェブページ38について、新聞販売店サーバ10側にウェブページリンク作成部35が設けられ、広告ウェブページ24に広告元の専用ウェブページ38のリンク情報が設定されている。

## 【0080】

利用者クライアント18は、新聞販売店サーバ10の広告ウェブページ24を閲覧した際に、その広告元のリンク情報を選択することで、新聞販売店サーバ10を経由して広告元コンピュータ14の専用ウェブページ38にリンクし、その閲覧を行うことができる。

## 【0081】

このため利用者は、新聞販売店サーバ10の広告ウェブページ24を閲覧した際に、更に広告元について詳しい内容を知りたい場合には、そのリンクを設定す



ることで広告元のウェブページ38を閲覧し、広告元について更に詳細な情報を  
知ることができる。

【0082】

(5) 広域リンク

図12のステップS10, S11は、利用者が契約先の新聞販売店サーバを経  
由して同一系列の他の新聞販売店のサーバにリンクして、その掲載広告を閲覧す  
る広域リンクの処理である。この広域リンクの処理は、ステップS10で他の新  
聞販売店に対するリンク要求を判別すると、ステップS1で要求先の新聞販売店  
サーバにリンクして広告ウェブページを閲覧させる。

【0083】

図20は新聞販売店相互間の広域リンクのシステム機能の説明図である。いま  
、地域60-1の新聞販売店サーバ10に対し利用者クライアント18から広告  
ウェブページ24を参照すると、この広告ウェブページ24の中に他の地域の新  
聞販売店に対するリンク情報が含まれていることから、これを選択する。

【0084】

これによって地域60-1の新聞販売店サーバ10から他の地域60-2の新  
聞販売店サーバ10-1~10-nの広告ウェブページ24-1~24-nに対  
しリンク62を貼っており、このリンク62を通じて地域60-1の利用者クラ  
イアント18から利用者は、他の地域62-2の新聞販売店サーバ10-1~1  
0-nの広告ウェブページ24-1~24-nを自由に閲覧することができる。

【0085】

このため本発明の広告システムは、新聞販売店とその購読契約者という地域密  
着型のシステム形態を取るが、同一系列の他の新聞販売店サーバとのリンクによ  
って、異なる地域の広告情報を必要に応じて入手することができ、広域的な広告  
ウェブページの閲覧を可能とする。

【0086】

但し、本発明の新聞販売店サーバ相互間のリンクは、例えば地域60-1の利  
用者クライアント18から直接他の地域60-2の例えば新聞販売店サーバ10  
-1へのリンクを強要するものではなく、あくまで新聞販売店サーバ10の広告

ウェブページ 2 4 の閲覧に伴うサービスとして他の新聞販売店サーバへのリンク 6 2 を貼ることができる。

【 0 0 8 7 】

このため、通常のインターネット閲覧処理のようにリンク情報が分かった場合に、次の際には直接リンク先にアクセスするような形態を取ることはできない。これによって、本発明の広告システムは、新聞販売店とその契約利用者という地域密着型の広告システムの形態を継続して維持することができる。

【 0 0 8 8 】

#### ( 6 ) 利用者広告の自動編集

図 1 2 のステップ S 1 2 ～ S 1 7 は、新聞販売店サーバ 1 0 の広告利用部 2 6 において、利用者の指定した広告選択情報に基づいた自動編集により利用者専用の広告ウェブページを作成し、サーバ側に保存するかまたは利用者やクライアントにダウンロードするようにしたことを特徴とする。

【 0 0 8 9 】

この利用者広告の自動編集は、ステップ S 1 2 で専用ウェブページの作成要求を判別すると、ステップ S 1 3 で利用者による広告選択情報の入力を受け、ステップ S 1 4 で利用者専用のウェブページを自動編集により作成する。続いてステップ S 1 4 で利用者がダウンロードを希望している場合には、ステップ S 1 6 で利用者クライアントに対する専用ウェブページのダウンロードを行う。ダウンロードを希望していなければ、ステップ S 1 7 で専用ウェブページを利用データベース 3 0 に保存する。

【 0 0 9 0 】

図 2 1 は利用者専用ウェブページの自動編集のシステム機能の説明図である。新聞販売店サーバ 1 0 には自動編集部 6 6 が設けられている。利用者クライアント 1 8 より広告ウェブページ 2 4 に対する閲覧要求を受けると、例えば図 2 2 ( A ) のような広告メニュー画面 5 4 を表示する。

【 0 0 9 1 】

この広告メニュー画面 5 4 の表示に対し、利用者クライアントが広告選択例えば「大型店舗」や「E 八百屋」を選択すると、図 2 2 ( B ) のような利用者専用

ウェブページ58を自動編集部66により編集して表示する。

【0092】

図21の例にあっては、広告ウェブページ24に掲載している広告74-1～74-nの中から利用者選択情報により広告74-2, 74-4, 74-5及び74-6の4つを選択し、これを自動編集部66で編集して利用者ウェブページ68に掲載し、利用者クライアント18側に閲覧させる。

【0093】

このようにして利用者用ウェブページ68が自動編集により作成されたならば、利用者クライアント18側からダウンロードの要求がなければ、作成した利用者用ウェブページ68を利用者識別情報と共に利用データベース30に保存する。

【0094】

また利用者クライアント18側からダウンロード要求があれば、自動編集した利用者用ウェブページ68を利用者クライアント18にダウンロードして閲覧させる。この利用者クライアント18に対する利用者用ウェブページ68のダウンロードは、例えば利用者の携帯端末に対するダウンロードを行わせる。

【0095】

このため利用者は、例えば自分が必要とするジャンルの広告のみを予め選択しておくことで、新聞販売店サーバ10で自動編集された利用者用のウェブページのダウンロードを携帯端末で受けることができ、例えば利用者が買物に行った際に携帯端末にダウンロードされている利用者用ウェブページを閲覧し、広告商品を選択するためのメモとして活用できる。

【0096】

図23は利用者専用ウェブページの自動編集の他の実施形態であり、この実施形態にあっては自動編集したウェブページを保存する代わりに、利用者の指定した広告選択情報をサーバ側で記憶するようにしたことを特徴とする。

【0097】

即ち新聞販売店サーバ10には自動編集部66が設けられており、利用者クライアント18からの広告閲覧に伴う選択要求に基づき、広告ウェブページ24か

ら選択した広告を自動編集して、利用者用ウェブページ 6 8 を作成して閲覧させる。この点は図 2 1 の実施形態と同じである。

#### 【0098】

これに対し図 2 3 の実施形態にあつては、自動編集された利用者用ウェブページ 6 8 を保存したりダウンロードせず、自動編集部 6 6 で使用された利用者の指定した広告選択情報を利用者情報として利用データベース 3 0 に保存している。

#### 【0099】

このため、次に利用者クライアント 2 8 からアクセスがあつた場合には、その利用者識別情報による利用データベース 3 0 の参照により、一度保存された広告選択情報を読み出して自動編集部 6 6 に供給し、自動編集部 6 6 により広告ウェブページ 2 4 から指定された広告を選択して、自動編集により同じ利用者用ウェブページ 6 8 を作成して閲覧させることができる。

#### 【0100】

この場合にも利用者クライアント 1 8 は、一度自分が必要とするジャンルなどの広告選択情報を指定していれば、次回以降のアクセスにあつては、広告選択を必要とすることなく、自動的に編集された自分専用の利用者用ウェブページ 6 8 を閲覧することができる。

#### 【0101】

##### (7) 地域情報

図 1 2 のステップ S 1 8, S 1 9 は、新聞販売店サーバ 1 0 の広告作成部 2 2 において、広告ウェブページ 2 4 に掲示板やリンク情報、リンク集などの広告以外の地域情報を掲載し、広告利用部 2 6 において契約者データベース 2 8 の登録利用者のみならず非登録の利用者に対しても地域情報を公開することを特徴とする。この地域情報の公開は、ステップ S 1 8 で利用者クライアントからの例えば掲示板閲覧要求を判別すると、ステップ S 1 9 で掲示板の閲覧処理を行う。

#### 【0102】

図 2 4 は地域情報閲覧のシステム機能の説明図である。新聞販売店サーバ 1 0 の広告ウェブページ 2 4 には、広告 8 0 に加え地域情報 8 2 が掲載されている。この新聞販売店サーバ 1 0 の地域情報 8 2 は、地域 7 8 に存在する契約利用者は

もちろんのこと、非契約利用者の利用者クライアント18-1～18-nからのアクセスを受け付け、地域情報84として公開する。地域情報84の中には掲示板86とリンク88が含まれている。

【0103】

図25は図24の地域情報84の利用者クライアント18-1におけるウェブページ画面90であり、「町内会からのお知らせ」「行事案内」「リサイクルのページ」「こども会のページ」「便利情報」「掲示板」などの情報が掲載されている。

【0104】

このように新聞販売店サーバのウェブページに地域情報や利用者の情報交換を行うための場所を提供することにより、地域社会の情報窓口としての利用を可能とし、しかも契約利用者のみならず非契約利用者についても地域情報を公開することで、新聞販売店サーバ10による広告システムについての広告効果も高めることができる。

【0105】

(8) 案内地図作成

図13のステップS20～S22は、新聞販売店サーバ10の広告利用部26において、利用者が指定した現在地と広告元を示す目的地を含む案内地図の作成要求に基づき、現在地から目的地までの経路を示した案内地図を作成して広告ウェブページ24に公開するか、または利用者クライアントに対しダウンロードするようにしたことを特徴とする。

【0106】

この案内地図作成処理にあっては、ステップS20で利用者クライアントからの案内地図作成要求を判別すると、ステップS21において利用者の現在位置と利用者が行こうとしている目的位置の入力を利用者から受ける。そしてステップS22で現在位置から目的位置までの経路を示した案内地図を作成して広告ウェブページに掲載することにより、利用者に提供する。

【0107】

図26は案内地図作成処理のシステム機能の説明図である。この案内地図作成

のため、新聞販売店サーバ10側には地図作成部92が設けられる。また利用データベース30には予め地図データが保存されている。利用者クライアント18による広告ウェブページ24の閲覧の際に、案内地図を作成したい場合には、案内地図作成用のページをメニューから選択し、現在地と目的地の位置情報を入力する。

【0108】

この現在地と目的地の利用者による指定を受けた新聞販売店サーバ10側においては、地図上の場所を指定するか住所入力によるGPSなどを用いた自動計測により位置情報を求める。

【0109】

このようにして求めた位置情報は地図作成部92に与えられ、利用データベース30より現在地及び目的地を含む地図データを読み出し、現在地、目的地及び経路を示した地図を作成して広告ウェブページ24上に地図94として公開する。利用者クライアント18は新聞販売店サーバ10の広告ウェブページ24に公開された地図94をダウンロードして利用する。

【0110】

図27(A)は案内地図作成処理における利用者クライアント18の経路検索／入力画面98であり、現在地に利用者の位置情報を入力し、また目的地には閲覧した広告元例えば「スーパーD」を入力する。現在地の入力については、画面下側に示すように「地図からの検索」「広告からの検索」「GPS)現在地確認」のいずれかを選択して参照ボタンを操作すればよい。

【0111】

このような現在地と目的地の入力を受けて新聞販売店サーバ10側の自動検索96により案内地図の作成が行われ、図27(B)に示すような案内地図100が利用者クライアント18の画面上に表示される。この案内地図100には利用者の現在地から目的地の「スーパーD」に対する経路表示が行われている。

【0112】

このように利用者に対し新聞販売店サーバ10側から広告元までの経路を示した案内地図が作成されて表示されることで、知らない広告元であっても利用者は

行先を確認して容易に行くことができる。また行先の分からない広告元に対する利用者からの問い合わせも減ることとなり、案内に関する広告元の手間を減らすことができる。

#### 【 0 1 1 3 】

##### ( 9 ) 商品注文

図 1 3 のステップ S 2 3 , S 2 4 は、新聞販売店サーバ 1 0 の広告利用部 2 6 において利用者からの広告商品の注文要求を広告元コンピュータ 1 4 に注文情報として送信し、この注文情報の送信後に注文商品の配達から利用者の受け取りまでを管理するようにしたことを特徴とする。

#### 【 0 1 1 4 】

即ち、図 1 3 のステップ S 2 3 で利用者からの広告商品の注文を判別すると、ステップ S 2 4 で広告元サーバへの注文商品の発注処理を行い、発注後は商品の配達から利用者の受け取りまでを管理するようになる。

#### 【 0 1 1 5 】

図 2 8 は注文商品に関するシステム機能の説明図である。利用者クライアント 1 8 からは利用者による新聞販売店サーバ 1 0 の広告ウェブページの閲覧により見た掲載広告についての商品注文が行われると、この商品注文に基づく注文情報を外部の広告元コンピュータ 1 4 に転送する。

#### 【 0 1 1 6 】

広告元コンピュータ 1 4 は新聞販売店サーバ 1 0 からの注文情報を受けると、新聞販売店の注文品保管部門 1 0 2 に注文商品を配達し、その後、注文品保管部門 1 0 2 から利用者に対し商品の配達を行い、受取りを受領する。このような商品保管部門 1 0 2 による配達及び受取りは新聞販売店サーバ 1 0 で管理されている。

#### 【 0 1 1 7 】

新聞販売店の注文品管理部門 1 0 2 による注文商品の配達は、保管された注文商品について新聞配達時に配達を行うか、あるいは利用者が直接新聞販売店に受取りに行くことになる。

#### 【 0 1 1 8 】

このような利用者による広告元に対する商品注文を新聞販売店サーバ 1 0 で対応して処理することにより、新聞販売店の新たな業務として商品の注文とその配達業務を作ることができる。また新聞販売店の配達員は地域の地理に熟知しており、広告元 1 4 から配達された注文商品を確実に利用者に届けることができる。

## 【 0 1 1 9 】

また新聞販売店は利用者が居住している地域に設置されていることから、新聞販売店に利用者が直接注文した商品を取りに行くことも容易にできる。

## 【 0 1 2 0 】

## ( 1 0 ) 紙媒体広告の配送

図 1 3 のステップ S 2 5, S 2 6 は、新聞販売店サーバ 1 0 の広告利用部 2 6 において、利用者からの要求に基づき広告ウェブページ 2 4 の掲載広告を紙媒体に印刷出力して利用者に配布させるようにしたことを特徴とする。即ちステップ S 2 5 で広告ウェブページの広告閲覧中に広告紙媒体の送付要求を利用者から受けると、ステップ S 2 6 で指定された広告をプリンタにより印刷出力して配送処理に回すようになる。

## 【 0 1 2 1 】

図 2 9 は広告紙媒体の配布のためのシステム機能の説明図である。新聞販売店サーバ 1 0 にはプリンタなどの紙媒体作成部門 1 0 4 が設けられており、利用者クライアント 1 8 による広告ウェブページ 2 4 の閲覧中に紙媒体送付の指定があると、広告ウェブページ 2 4 の指定された掲載広告を紙媒体作成部門 1 0 4 で印刷出力し、これを新聞販売店の配達員が新聞配達の際に新聞に折りこんで利用者に配達する。

## 【 0 1 2 2 】

また新聞販売店サーバ 1 0 からの印刷出力による紙媒体広告に加え、広告元 1 4 から直接提供された紙媒体広告も併せて紙媒体作成部門 1 0 4 で新聞に折りこんで利用者に配達することになる。

## 【 0 1 2 3 】

このように新聞販売店サーバ 1 0 の広告ウェブページ 2 4 に掲載している電子媒体広告についての利用者の要求により紙媒体として配布できるようにすること



で、広告の紙媒体による配布か電子媒体による配布かを必要に応じて使い分けることができ、広告の利用形態を利用者は自由に選ぶことができる。

## 【 0 1 2 4 】

図 3 0 は、図 8 のステップ S 6 に示した広告利用処理の中の非契約者利用処理の詳細を示したフローチャートである。本発明の広告システムは新聞販売店の購読契約を行っている契約利用者を広告サービスの対象とするものであるが、新聞の購読契約を行っていない非契約者についても特定の条件の下に限られた範囲で広告ウェブページ 2 4 の利用を可能とする。

## 【 0 1 2 5 】

このための非契約者利用処理にあっては、非契約者のクライアントからのアクセスを判別した後に、ステップ S 1 で非契約者利用ページの有無をチェックする。非契約者利用ページとして、この実施形態にあっては図 2 4 に示した地域情報を準備しており、このためステップ S 2 で地域情報の閲覧処理を行う。続いてステップ S 3 で、例えば図 3 1 に示すような新聞購読契約の申込みページを非契約者の利用者クライアント 1 8 - i に申込みページ 1 0 6 として提示する。

## 【 0 1 2 6 】

この申込みページ 1 0 6 は、新聞購読契約として自動振込申請、契約期間更新申請を設けている。また非契約者について有料で広告閲覧を可能とするための広告閲覧契約もできる。更に、契約に伴う特典サービスの案内として割引券情報やポイント交換情報に関する情報をメニュー表示している。

## 【 0 1 2 7 】

このような申込みページ 1 0 6 に対し、非契約者が新聞購読申込みを行うと、申込みがステップ S 4 で判別され、ステップ S 5 で購読契約の契約者データベース 2 8 に対する登録処理を行う。続いてステップ S 6 で契約登録に基づいて広告閲覧に使用する利用者情報としてログイン名とパスワードを新たな契約利用者に対し発行する。

## 【 0 1 2 8 】

またステップ S 7 で割引サービスやポイントサービスなどの特典を受けるための契約者証明カードや契約者証明データの発送またはダウンロードのための送付

処理を行う。

【 0 1 2 9 】

なお図 3 1 の申込みページ 1 0 6 は図 3 0 の非契約者の新聞購読契約申込みのみならず、既に利用データベース 2 8 に登録されている契約利用者における新聞購読契約の中の自動振込申請や契約期間変更申請などにも利用することができる。

【 0 1 3 0 】

図 3 2 は新聞契約におけるシステム機能の説明図である。利用者クライアント 1 8 側からの閲覧要求で新聞販売店サーバ 1 0 が広告ウェブページ 2 4 を公開し、利用者クライアント 1 8 から契約申込み要求があると、契約申込みページ 1 0 6 を広告ウェブページ 2 4 の中から表示する。

【 0 1 3 1 】

これにより利用者クライアント 1 8 を使用して利用者は新聞購読契約を行う。これに基づき新聞販売店からは新聞の配達や必要なサービスを利用者側に提供することになる。

【 0 1 3 2 】

このように新聞販売店サーバ 1 0 の広告ウェブページを利用して非契約者の購読申込み、契約利用者の自動振込や更新のためのコード期間変更などができるため、新聞販売店から利用者宅に対する訪問を減らすことができ、人件費の節減ができる。

【 0 1 3 3 】

また契約利用者の広告閲覧に対し、例えば更新期間が近づいた場合には契約更新が近づいていることのメッセージ表示を行うことにより、契約利用者宅に訪問した際に、予め利用者において更新が近づいていることが分かっていることから、更新の手続きを円滑に行うことが可能である。

【 0 1 3 4 】

図 3 3 は図 5 のステップ S 3 に示した新聞販売店サーバ 1 0 による広告調査処理の詳細を示したフローチャートである。この広告調査処理にあっては、ステップ S 1 で広告掲載から調査用の一定期間経過か否かチェックする。一定の広告掲

載期間に達すると、ステップ S 2 で利用データベース 3 2 から閲覧回数を取得する。

【 0 1 3 5 】

またステップ S 3 で広告元コンピュータ 1 4 から割引サービスやポイントサービスに関する利用者の特典利用情報を入力する。この特典利用情報は、既に利用データベース 3 0 に格納されている場合にはそこから読み出すことになる。続いてステップ S 4 で調査結果の報告処理を広告元コンピュータ 1 4 に対し行う。

【 0 1 3 6 】

次にステップ S 5 で調査結果に基づく広告料の決定を行う。この広告料の決定は、例えば広告閲覧回数が予め定めた所定数を超えた場合に新聞販売店に対し成功報酬的に行われる追加料金納付契約に基づいた広告料の追納の決定を行う。

【 0 1 3 7 】

次にステップ S 6 で、決定された広告料につき広告元に対する広告料金の請求などの清算処理を行う。更にステップ S 7 で調査結果を分析し、分析結果として得られたマーケティング情報を広告元コンピュータ 1 4 に報告する。

【 0 1 3 8 】

図 3 4 は、広告調査処理に関するシステム機能の説明図である。この広告調査処理のため、新聞販売店サーバ 1 0 には広告効果調査部 1 1 0 が設けられている。また新聞販売店サーバ 1 0 の利用データベース 3 0 には、広告ウェブページ 2 4 に対する利用者側からの閲覧状況記録が広告閲覧の際に予め閲覧回数として保存されている。

【 0 1 3 9 】

更に広告元コンピュータ 1 4 からは契約利用者による割引サービスやポイントサービスの契約者利用状況記録が転送され、利用データベース 3 0 に登録される。この特典に関する契約者利用状況記録は、広告調査の際に転送させてもよいし、予め転送させておいてもよい。

【 0 1 4 0 】

広告効果調査部 1 1 0 は、利用データベース 3 0 から予め定めた調査用の掲載からの一定期間を経過した広告について利用データベース 3 0 から掲載回数を検

索し、これを調査結果として広告元コンピュータ 1 4 に報告する。また広告効果調査部 1 1 0 は、利用データベース 3 0 の閲覧状況に関する記録や契約利用者の特典利用状況に関する記録から調査結果の分析を行い、マーケティング情報を広告元コンピュータ 1 4 に提供することもできる。

【 0 1 4 1 】

図 3 5 は、広告調査処理における新聞販売店サーバ 1 0、広告元コンピュータ 1 4、更に利用者クライアント 1 8 のそれぞれにおける処理の詳細を示したフローチャートである。

【 0 1 4 2 】

まず新聞販売店サーバ 1 0 にあっては、既に説明したように、ステップ S 1 で広告ウェブページを作成し、ステップ S 2 で広告元コンピュータ装置 1 4 からの依頼及び契約金支払いを受けて広告掲載を行う。ステップ S 3 で利用者クライアント 1 8 からの広告閲覧があれば、ステップ S 4 で利用データベース 3 0 に閲覧情報を記録する。

【 0 1 4 3 】

新聞販売店サーバ 1 0 のステップ S 2 の広告掲載に対しては、広告元コンピュータ 1 4 のステップ S 1 0 1 で広告作成が行われ、ステップ S 1 0 2 で広告掲載依頼が電子媒体広告あるいは紙媒体広告で新聞販売店サーバ 1 0 側に対し行われている。

【 0 1 4 4 】

更に利用者クライアント 1 8 にあっては、ステップ S 2 0 1 で新聞販売店サーバ 1 0 の広告ウェブページにアクセスし、ステップ 2 0 2 で広告閲覧を選択すると、ステップ S 2 0 3 で特典を利用するか否かチェックする。特典を利用する場合にはステップ S 2 0 4 で広告元に対し特典利用に関する情報としてカードまたはデータにより利用者閲覧証明を提供する。

【 0 1 4 5 】

ステップ S 2 0 2 で閲覧する場合には、新聞販売店サーバ 1 0 のステップ S 4 に対する閲覧情報記録に対し利用者情報を送って、利用データベース 3 0 に利用者情報と共に閲覧回数を記録する。

## 【 0 1 4 6 】

広告元コンピュータ 1 4 の特典処理にあつては、ステップ S 1 0 3 で利用者閲覧証明を入力すると、ステップ S 1 0 4 で記憶部 1 5 0 を参照して証明判定を行い、契約利用者であれば、ステップ S 1 0 5 で割引ポイント加算、利用記録などの特典処理を実行する。非契約利用者であった場合には、ステップ S 1 0 6 で特典を与えずに通常の販売を行う。

## 【 0 1 4 7 】

新聞販売店サーバ 1 0 にあつては、一定の広告調査期間に達すると、ステップ S 5 で利用データベース 3 0 からの掲載回数を読み出すと共に、広告元コンピュータ 1 4 の記憶部 1 5 0 より特典利用者情報を受け、ステップ S 6 で利用状況の調査を行う。

## 【 0 1 4 8 】

そしてステップ S 7 で調査結果に基づき広告元に対する例えば追加料などの決定を行い、調査結果報告として広告元コンピュータ 1 4 に通知する。広告元コンピュータ 1 4 にあつては、新聞販売店サーバ 1 0 からの調査結果に対し、ステップ S 1 0 7 で広告効果の分析を行い、これをステップ S 1 0 1 の広告作成にフィードバックする。

## 【 0 1 4 9 】

また追加料の決定があつた場合には、新聞販売店サーバ 1 0 に対し追加料の支払いを行う。新聞販売店サーバ 1 0 にあつては、ステップ S 8 で調査結果について利用状況の分析を行い、これをステップ S 1 の広告ウェブページの作成にフィードバックして反映させる。

## 【 0 1 5 0 】

更に利用者クライアント 1 8 にあつては、その記憶部 1 3 0 に広告元コンピュータ 1 4 のステップ S 1 0 5 における特典実施による利用記録を保存している。そしてステップ S 2 0 6 で必要に応じて特典に関する利用状況を確認し、ステップ S 2 0 7 で家計管理に反映させ、更にステップ S 2 0 6 の特典を利用するか否かの判断にフィードバックできる。

## 【 0 1 5 1 】

このような本発明による広告システムの広告調査処理により、新聞販売店は広告ウェブページに掲載した広告の効果を調べ、効果に応じて広告元への追加料金が請求できる。また新聞販売店は、広告利用状況の調査結果を広告ウェブページの作成に反映させることで、より広告効果の高いウェブページを作成できる。また広告元は、新聞販売店サーバ10からの調査結果に基づき、より効果の高い広告を作成したり、営業体制の見直しなどのマーケティングを行うことができる。

## 【0152】

なお、上記の実施形態は新聞販売店を利用した広告システムを例にとるものであったが、本発明はこれに限定されず、既存の組織がサービスや商品について利用者と契約を予め結んでいる環境であれば同様に適用することができる。また本発明における上記の利用形態はこれに限定されず、目的と利点を損なわない適宜の変形を含む。

## 【0153】

(付記)

(付記1)

第1サービスを提供している提供者と契約している利用者を登録したデータベースと、

広告元から依頼された広告を作成し、第2サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成部と、

利用者情報を入力してデータベースの前記第1サービスの契約利用者と判定した場合に、前記ウェブページの広告を公開して前記第2サービスを提供する広告利用部と、

を備えたことを特徴とする広告サーバ。(1)

## 【0154】

(付記2)

少なくとも新聞販売店と購読契約している契約者を登録したデータベースと、

広告元から依頼された広告を作成してウェブページに掲載する広告作成部と、

利用者情報を入力してデータベースの契約者と判定した場合に前記ウェブページの広告を公開して閲覧させる広告利用部と、

を備えたことを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 5 5 】

(付記 3)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告作成部は、広告元からの電子媒体広告を入力して前記ウェブページに掲載すると共に、広告元からの媒体広告を電子化して前記ウェブページに掲載することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 5 6 】

(付記 4)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告作成部は、広告元から依頼された広告の作成又は広告元のウェブページを作成することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 5 7 】

(付記 5)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者が前記ウェブページの広告を閲覧した際に、新聞販売店または広告元による特典を閲覧した利用者に付与することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 5 8 】

(付記 6)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者の指定した希望する広告選択情報を入力して記憶し、前記広告選択情報に対応する広告をメール又は F A X で配信することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 5 9 】

(付記 7)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者の指定したリンク要求に基づき、公開している広告元のウェブページリンクすることを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 0 】

(付記 8)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者の指定したリンク要求に基づき、異なる地域の同一系列の新聞販売店で管理している広告サーバ

のウェブページにアクセスすることを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 1 】

(付記 9)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者の指定した広告選択情報に基づいて利用者専用のウェブページを自動編集して保存する又は利用者装置に対しダウンロードすることを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 2 】

(付記 1 0)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者の指定した広告選択情報を保存し、利用者から閲覧要求を受けた際に、保存している前記広告選択情報に基づいて利用者専用のウェブページを自動編集して閲覧させることを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 3 】

(付記 1 1)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告作成部は前記ウェブページに掲載板やリンク集などの広告以外の地域情報を掲載し、前記広告利用部は前記データベースの登録利用者及び非登録利用者に前記地域情報を公開することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 4 】

(付記 1 2)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、前記データベースに登録されていない非契約利用者の閲覧要求を判定した際に、新聞購読契約の申込ページを提示することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 5 】

(付記 1 3)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、前記データベースから契約更新の対象となる契約利用者を検索し、前記ウェブページの閲覧時に契約更新の必要性を表示することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 6 】



(付記 1 4)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者の指定した現在地と広告元を示す目的地を含む案内地図の作成要求に基づき、現在地から目的地までの経路を示した案内地図を作成して前記ウェブページに公開するか、または利用者装置に対しダウンロードすることを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 7 】

(付記 1 5)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者から広告商品の注文要求を広告元装置に注文情報として送信し、送信後に注文商品の配達から受取りまでを管理することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 6 8 】

(付記 1 6)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者からの要求に基づき、前記ウェブページの掲載広告を紙媒体に印刷出力して配布させることを特徴とする広告システム。

【 0 1 6 9 】

(付記 1 7)

付記 1 記載の広告サーバに於いて、前記広告利用部は、利用者による広告閲覧毎に前記データベースに閲覧情報を登録し、広告掲載から所定期間後に前記データベースの検索により広告利用状況を調査して調査結果を広告元装置に通知すると共に、前記調査結果に基づいて広告掲載料金を決定して清算することを特徴とする広告サーバ。

【 0 1 7 0 】

(付記 1 8)

サーバを用いた広告方法に於いて、  
第 1 サービスを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録する登録ステップと、  
広告元から依頼された広告を作成し、第 2 サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの前記第 1 サービスの契約利用者と判定した場合に、前記ウェブページの広告を公開して前記第 2 サービスを提供する広告利用ステップと、

を備えたことを特徴とする広告方法。(2)

【0171】

(付記 19)

サーバとして機能するコンピュータに、

第 1 サービスを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録する登録ステップと、

広告元から依頼された広告を作成し、第 2 サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの前記第 1 サービスの契約利用者と判定した場合に、前記ウェブページの広告を公開して前記第 2 サービスを提供する広告利用ステップと、

を実行させることを特徴とするプログラム。(3)

【0172】

(付記 20)

新聞販売店のサーバとして機能するコンピュータに、

少なくとも新聞販売店と購読契約している契約者をデータベースに登録する登録ステップと、

広告元から依頼された広告を作成してウェブページに掲載する広告作成ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの契約者と判定した場合に前記ウェブページの広告を公開して閲覧させる広告利用ステップと、

を実行させるプログラム。(4)

【0173】

(付記 21)

サーバとして機能するコンピュータに、

第 1 サービスを提供している提供者と契約している利用者をデータベースに登録

する登録ステップと、

広告元から依頼された広告を作成し、第2サービスである広告閲覧のためにウェブページに掲載する広告作成ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの前記第1サービスの契約利用者と判定した場合に、前記ウェブページの広告を公開して前記第2サービスを提供する広告利用ステップと、

を実行させるプログラムを格納したコンピュータ可読の記録媒体。(5)

【0174】

(付記22)

新聞販売店のサーバとして機能するコンピュータに、

少なくとも新聞販売店と購読契約している契約者をデータベースに登録する登録ステップと、

広告元から依頼された広告を作成してウェブページに掲載する広告作成ステップと、

利用者情報を入力してデータベースの契約者と判定した場合に前記ウェブページの広告を公開して閲覧させる広告利用ステップと、

を実行させるプログラムを格納したコンピュータ可読の記録媒体。

【0175】

【発明の効果】

以上説明してきたように本発明によれば、新聞販売店と取引している広告元及び新聞を配達している購読者を対象に新聞販売店が広告サーバを運用してインターネットを利用した広告システムを構築するため、短期間で広告元と利用者を選定した地域密着型の広告システムを確実に立ち上げて運用に入ることができる。

【0176】

また広告サーバの運用に必要な費用は広告元からの広告収入を基本とするが、新聞購読を行っている利用者也購読料という形で一部負担しており、広告元及び利用者の負担により十分な運用コストを確保することができる。

【0177】

また1つの新聞販売店の配達地域については物理的な距離と時間などにより決まっており、インターネットを利用した広告システムであっても広告元及び利用者は配達地域もしくはその周辺に限られることとなり、広い地域を対象とした広告はもともと新聞広告として提供されていることから、必然的に地域に密着した従来の折り込み広告としての簡便さ、地域性、及び広告コストの安さを持った広告システムを確立することができる。

## 【 0 1 7 8 】

また広告ウェブページの閲覧は、原則として新聞販売店のデータベースに登録されている契約利用者に制限され、新聞を購読している利用者のみが掲載広告を閲覧できるメリットを共有でき、これによって新聞を購読していない非契約利用者との差別化が図られ、非契約利用者に対する新聞購読契約の新規獲得を促すことができる。

## 【 0 1 7 9 】

更に本発明の広告利用は、掲載広告の閲覧はもちろんのこと割引サービスやポイントサービスなどの利用者に対する特典付与、利用者の要求に伴うメールやFAXによる広告の配信、広告元へのリンク、他の新聞販売店サーバに対する広域リンク、利用者の広告選択要求に伴う専用広告ページの作成による保存やダウンロード、更には広告選択情報の保存による広告ウェブページの自動編集、契約利用者及び非契約利用者を対象とした地域情報の閲覧、案内地図の作成、商品の注文、紙広告媒体の配布といった様々な利用サービスが提供され、従来の折り込み広告では予想し得ないインターネットを利用した、しかも地域密着型の広告サービスが構築できる。更に新聞販売店にあっては、従来の紙媒体の広告による仕分け、折り込みの作業が節減でき、人件費や手間によるコスト削減を図ることができる。これに伴い広告元についても費用と手間の節減が図られる。

## 【 0 1 8 0 】

更に本発明にあっては、広告調査を行うことで広告効果を確認し、新聞販売店、広告元における広告効果に調査結果を反映して、より効果の高い広告作成や広告掲載が実現できる。また利用者に対しては広告元に対する割引サービスやポイントサービスの利用状況を得ることで、家計管理に役立つだけでなく、次の広告

利用の判断材料として利用することもできる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の原理説明図

【図 2】

本発明による新聞販売店の販売網を利用した広告システムのブロック図

【図 3】

図 2 の契約者データベースの説明図

【図 4】

図 2 の利用データベースの説明図

【図 5】

図 2 の新聞販売店サーバの概略処理のフローチャート

【図 6】

図 5 の広告作成処理のフローチャート

【図 7】

図 6 の広告作成処理によるシステム機能の説明図

【図 8】

図 5 の広告利用処理のフローチャート

【図 9】

図 8 における契約利用者判定処理のシステム機能の説明図

【図 1 0】

図 9 の利用者クライアントにおける利用者情報入力画面と非契約利用者と判定された場合の画面の説明図

【図 1 1】

図 8 の契約者利用処理の詳細を示したフローチャート

【図 1 2】

図 1 1 に続く契約者利用処理のフローチャート

【図 1 3】

図 1 2 に続く契約者利用処理のフローチャート

【図 1 4】

図 1 1 のステップ S 1 による広告閲覧画面の説明図

【図 1 5】

図 1 1 のステップ S 3, S 4 による特典付与の説明図

【図 1 6】

図 1 1 のステップ S 3, S 4 の特典付与による広告元コンピュータの機能説明図

【図 1 7】

図 1 1 のステップ S 5 ~ S 7 による広告配信の説明図

【図 1 8】

広告配信のためのクライアントの広告選択画面と選択指定及びメール配信の説明  
図

【図 1 9】

図 1 1 のステップ S 8, S 9 による広告元リンクの説明図

【図 2 0】

図 1 2 のステップ S 1 0, S 1 1 による広域リンクの説明図

【図 2 1】

図 1 2 のステップ S 1 2 ~ S 1 7 による広告自動編集とダウンロードの説明図

【図 2 2】

広告自動編集の選択画面と編集画面の説明図

【図 2 3】

広告自動編集の他の実施形態の説明図

【図 2 4】

図 1 2 のステップ S 1 8, S 1 9 による地域情報閲覧の説明図

【図 2 5】

地域情報閲覧画面の説明図

【図 2 6】

図 1 3 のステップ S 2 0 ~ S 2 2 による案内地図作成の説明図

【図 2 7】

案内地図作成の入力指定画面と作成された案内地図画面の説明図

【図 2 8】

図 1 3 のステップ S 2 3, S 2 4 による商品注文の説明図

【図 2 9】

図 1 3 のステップ S 2 5, S 2 6 による紙媒体広告配送の説明図

【図 3 0】

図 8 の非契約者利用処理の詳細を示したフローチャート

【図 3 1】

新聞購読用の申込みページの説明図

【図 3 2】

新聞購読申込み処理の説明図

【図 3 3】

図 5 の広告調査処理のフローチャート

【図 3 4】

広告調査処理のシステム機能の説明図

【図 3 5】

広告調査のためのシステム処理のフローチャート

【図 3 6】

従来の新聞販売店における折込み広告を利用した広告システムの説明図

【符号の説明】

- 1 0 : 新聞販売店サーバ (広告サーバ)
- 1 2 : インターネット
- 1 4 : 広告元コンピュータ
- 1 6 : 広告作成代行コンピュータ
- 1 8, 1 8 - 1 ~ 1 8 - n : 利用者クライアント
- 2 0 : 通信プロトコル処理部
- 2 2 : 広告作成部
- 2 4 : 広告ウェブページ

2 6 : 広告利用部

2 8 : 契約者データベース

3 0 : 利用データベース

3 2 : 電子化部

3 4 : ウェブページ掲載部

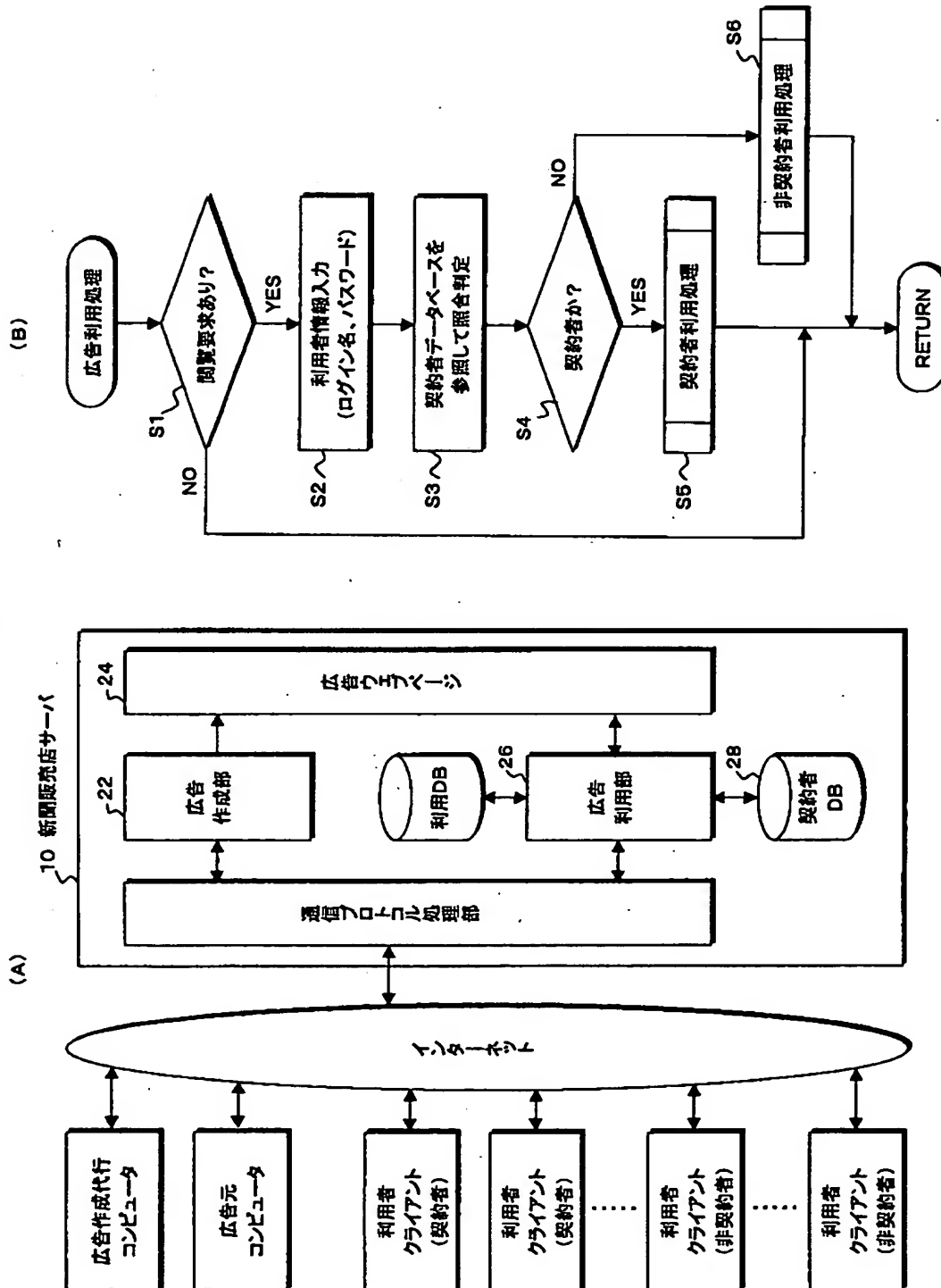
3 6 : 広告／ウェブ作成代行部



【書類名】 図面

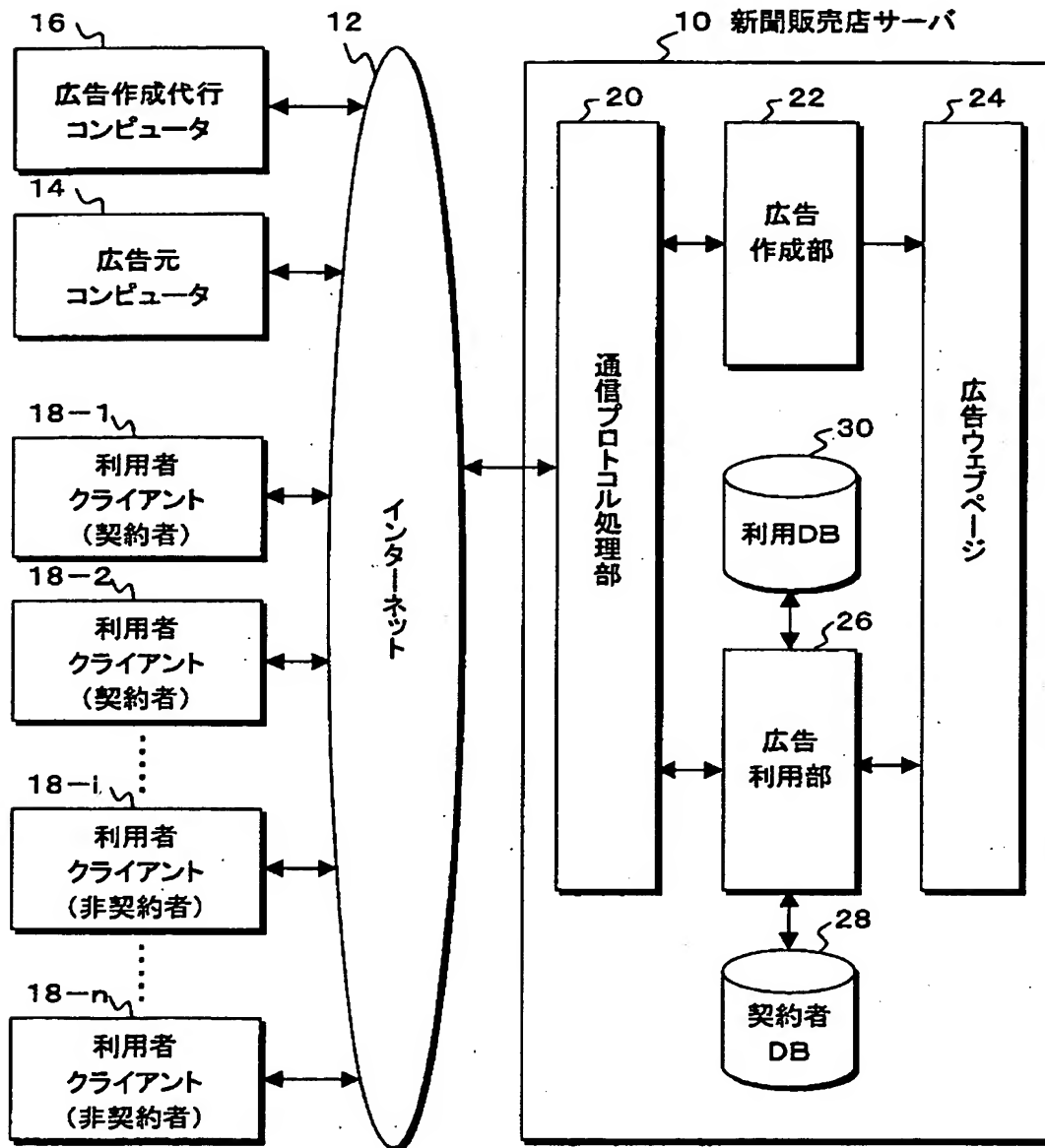
【図1】

本発明の原理説明図



【図 2】

本発明による新聞販売店の販売網を利用した広告システムのブロック図



【図 3】

図2の契約者データベースの説明図

28 契約者データベース

ID	アカウント名	パスワード	契約期間	氏名	住所	TEL/FAX					

【図 4】

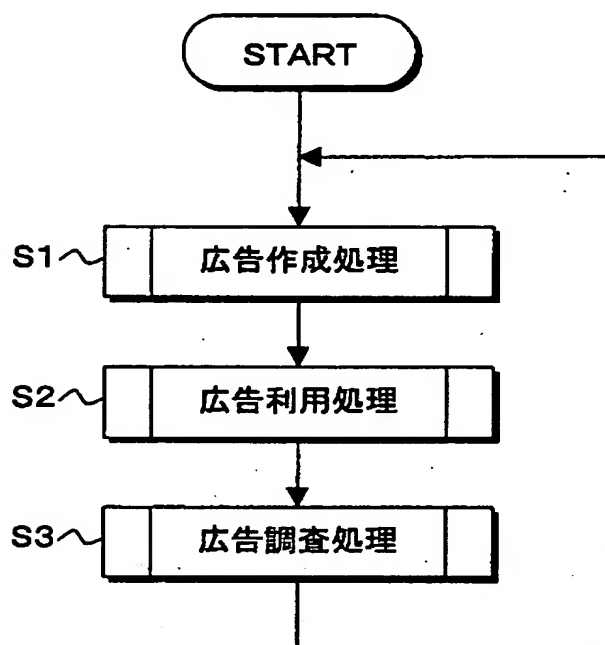
図2の利用データベースの説明図

30 利用データベース

広告ID	広告元	掲載期間	広告料金	閲覧回数	特典利用情報

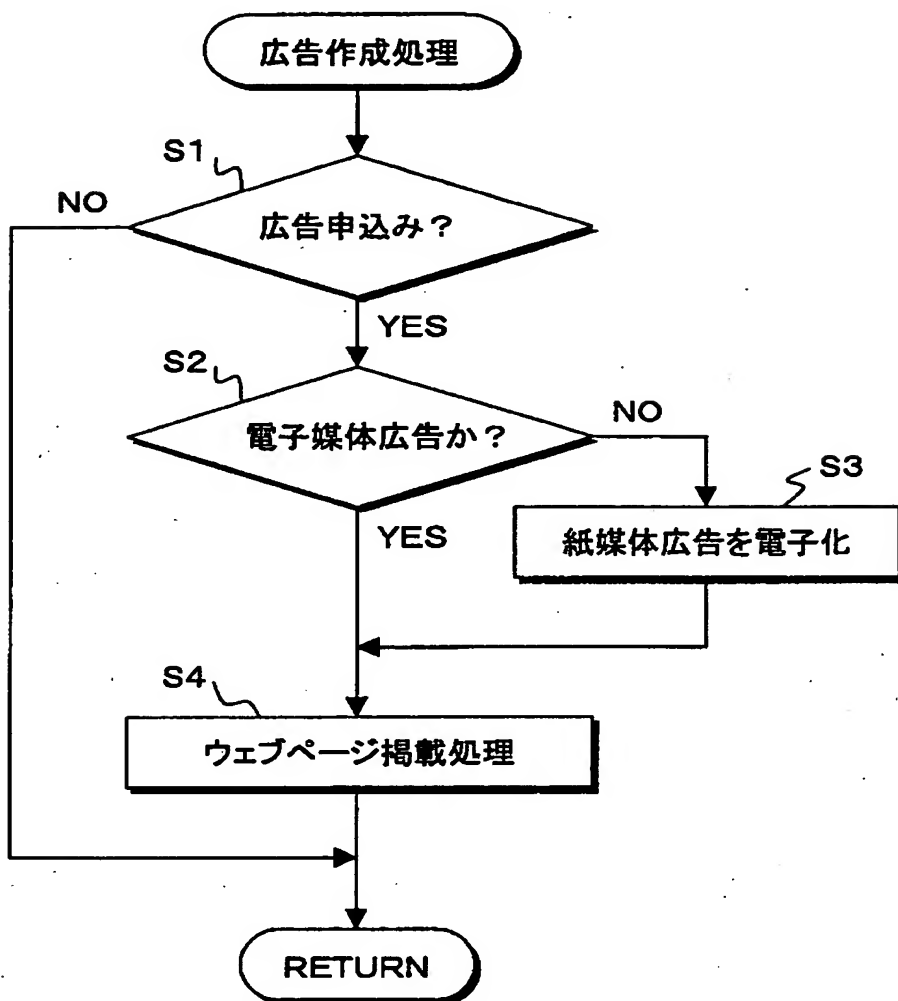
【図 5】

図2の新聞販売店サーバの概略処理のフローチャート



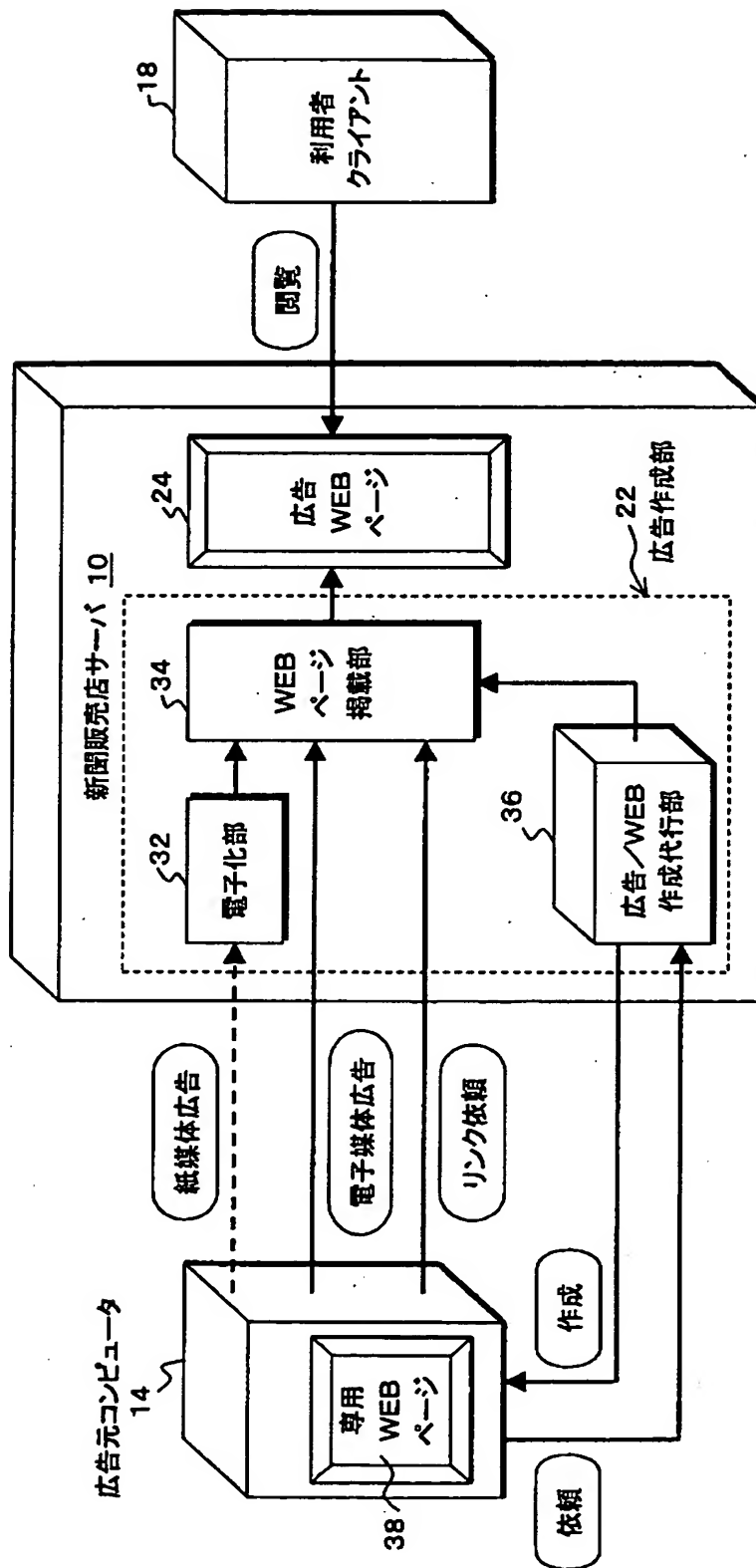
【図 6】

図5の広告作成処理のフローチャート



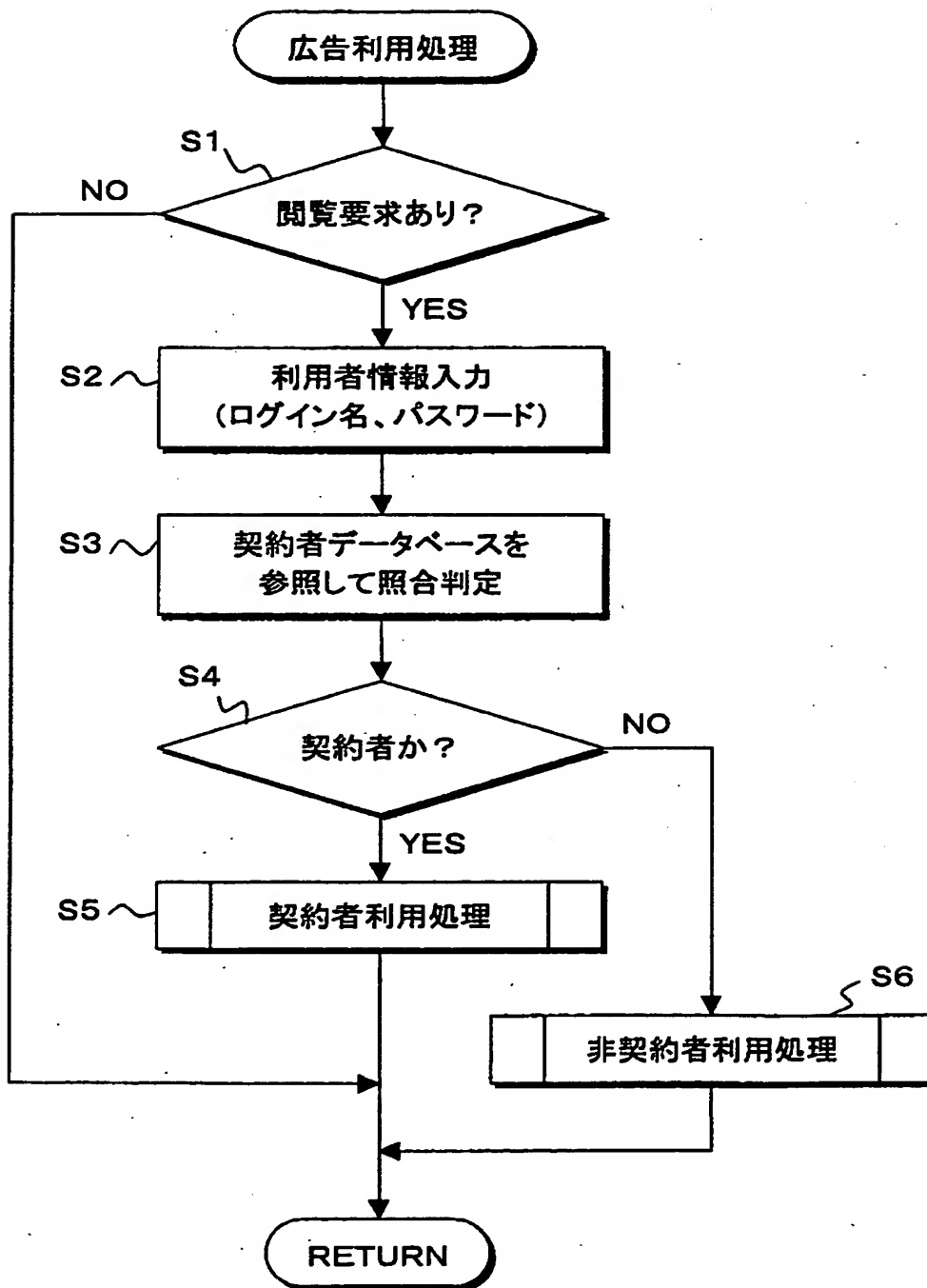
【図 7】

図6の広告作成処理によるシステム機能の説明図



【図 8】

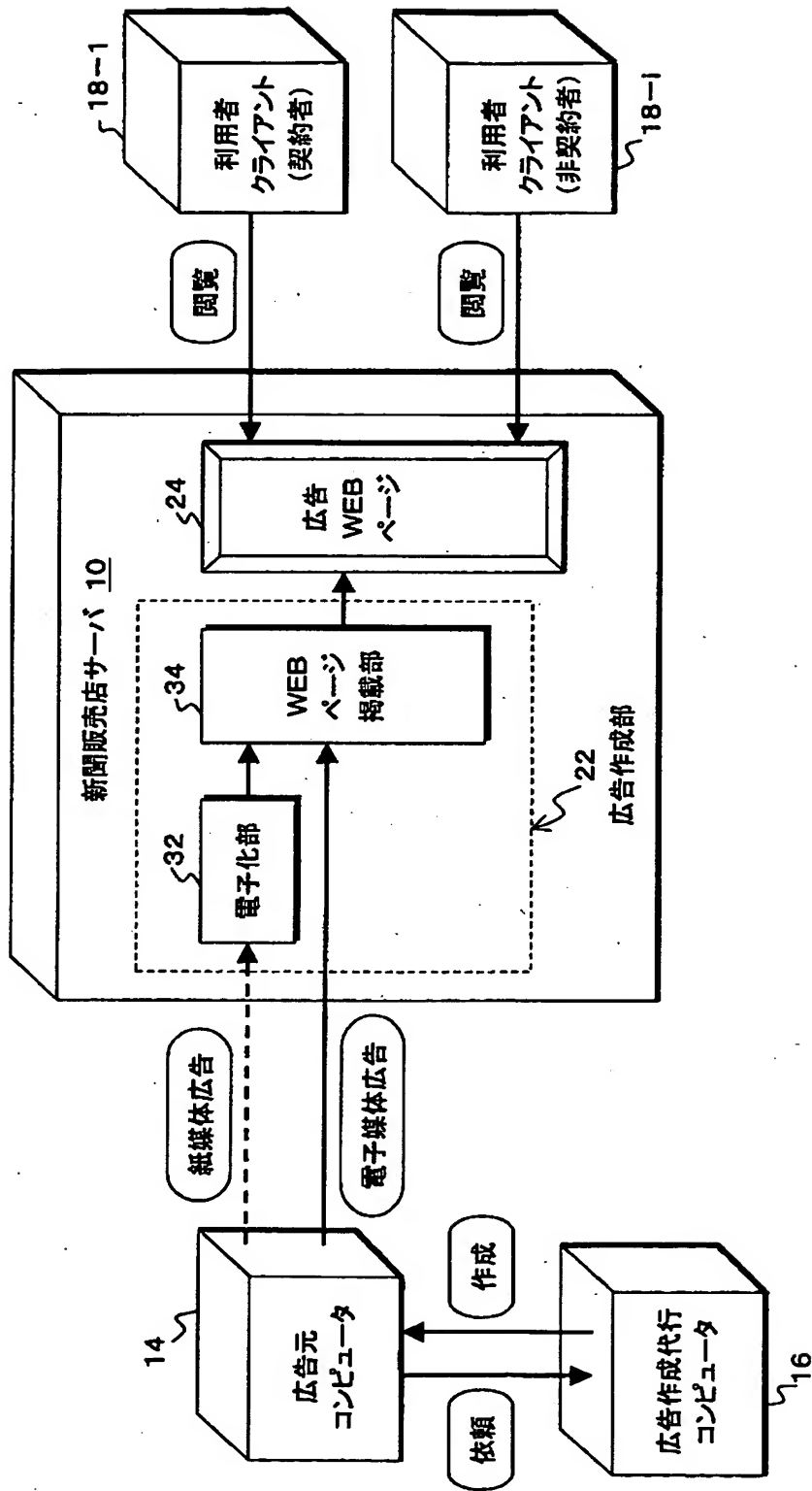
図5の広告利用処理のフローチャート





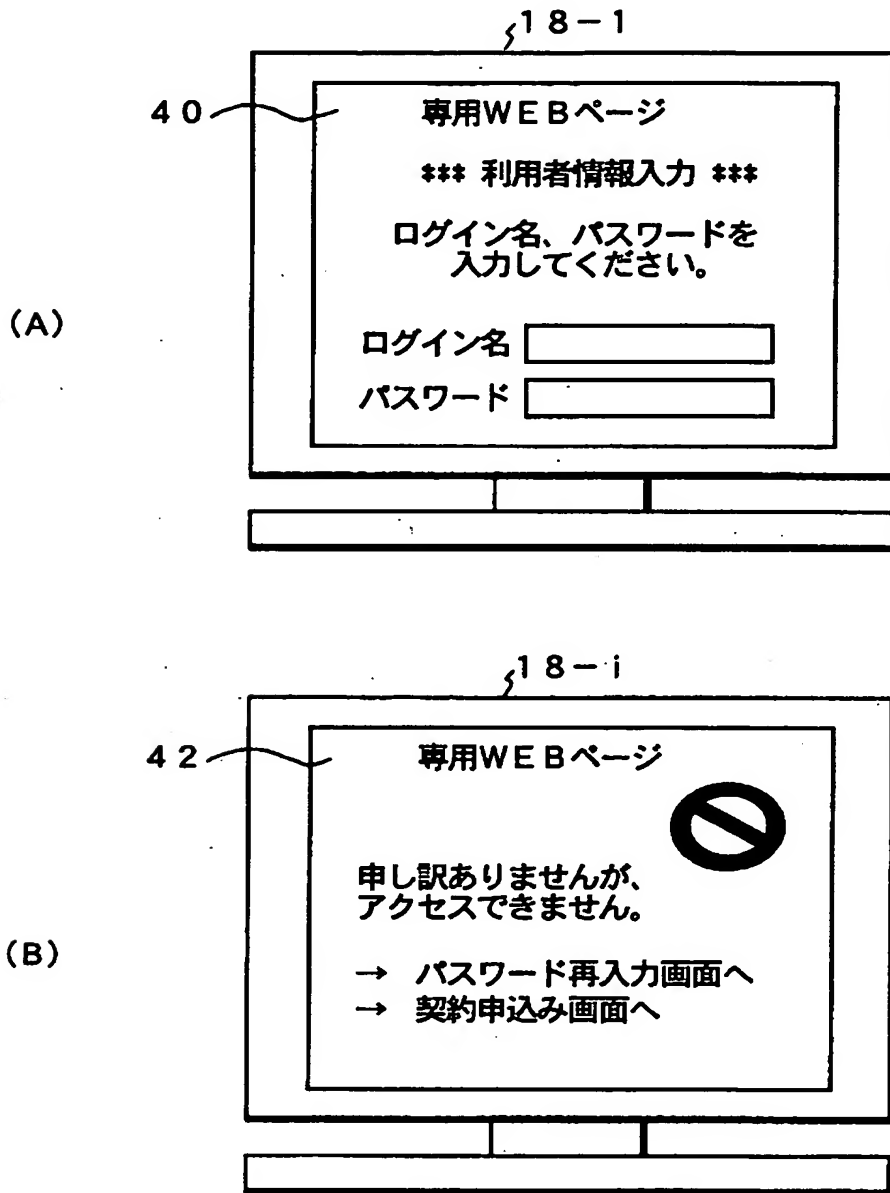
【図 9】

図8における契約利用者判定処理のシステム機能の説明図



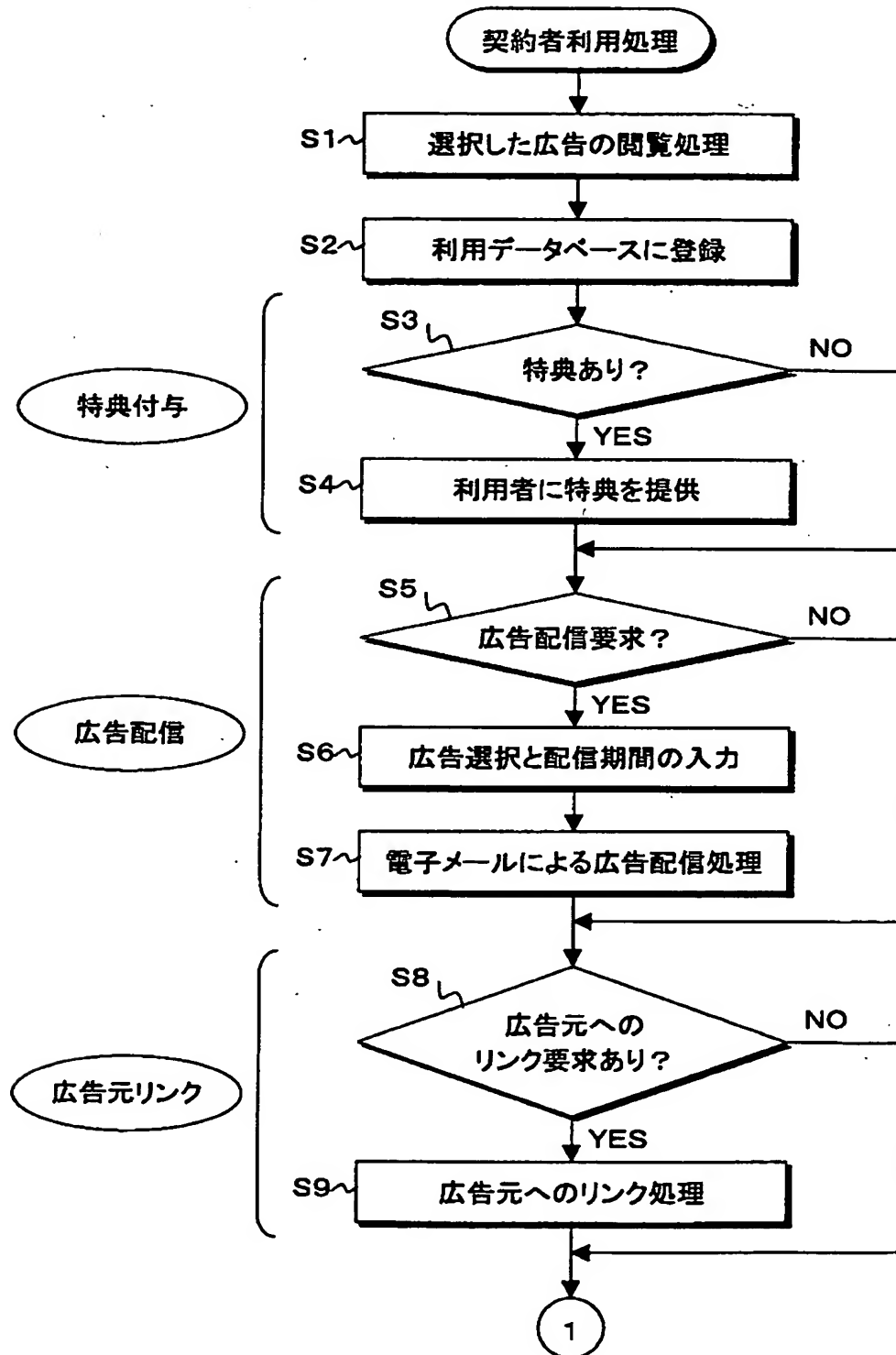
【図10】

図9の利用者クライアントにおける利用者情報入力画面と非契約利用者と判定された場合の画面の説明図



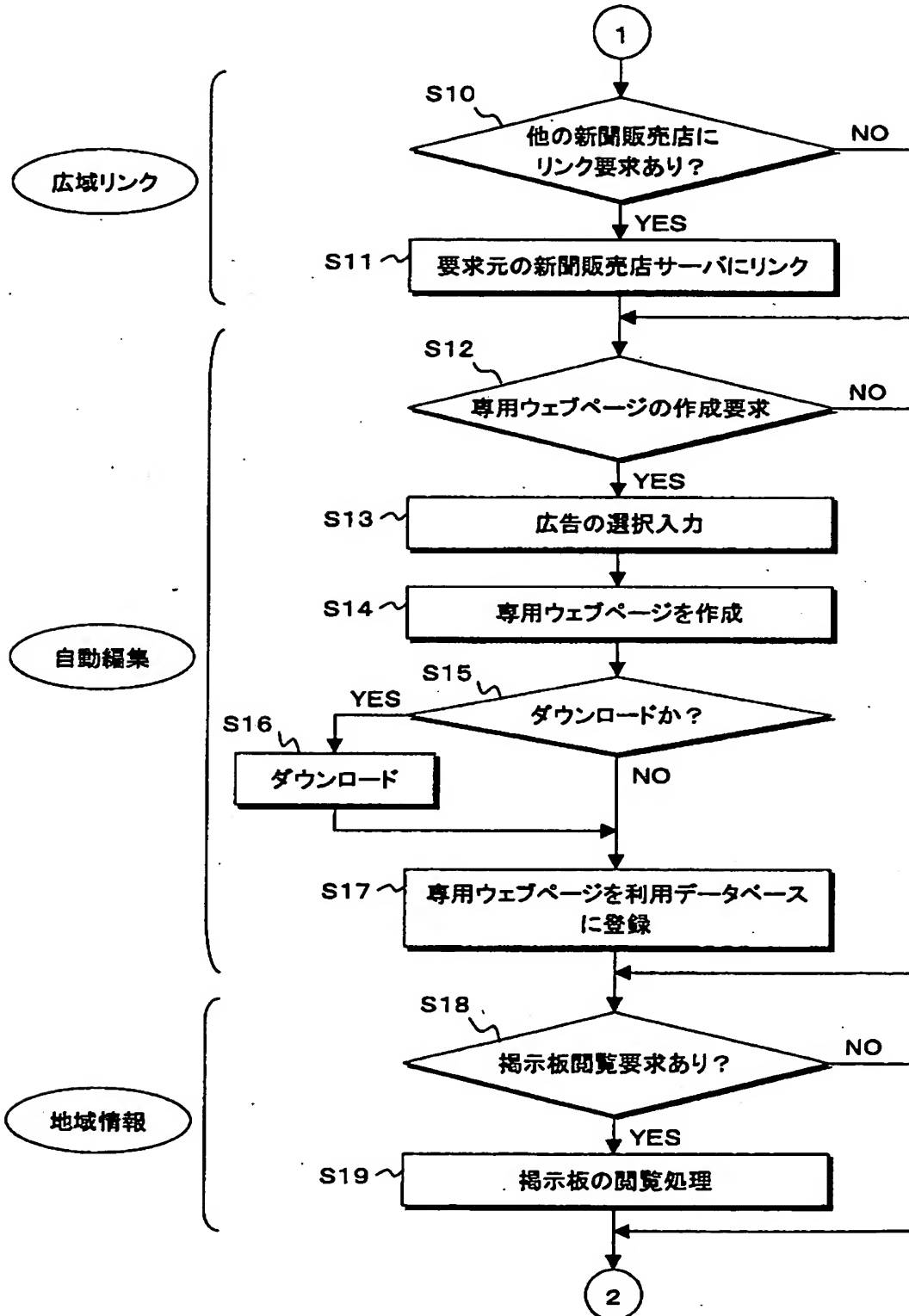
【図 1 1】

図8の契約者利用処理の詳細を示したフローチャート



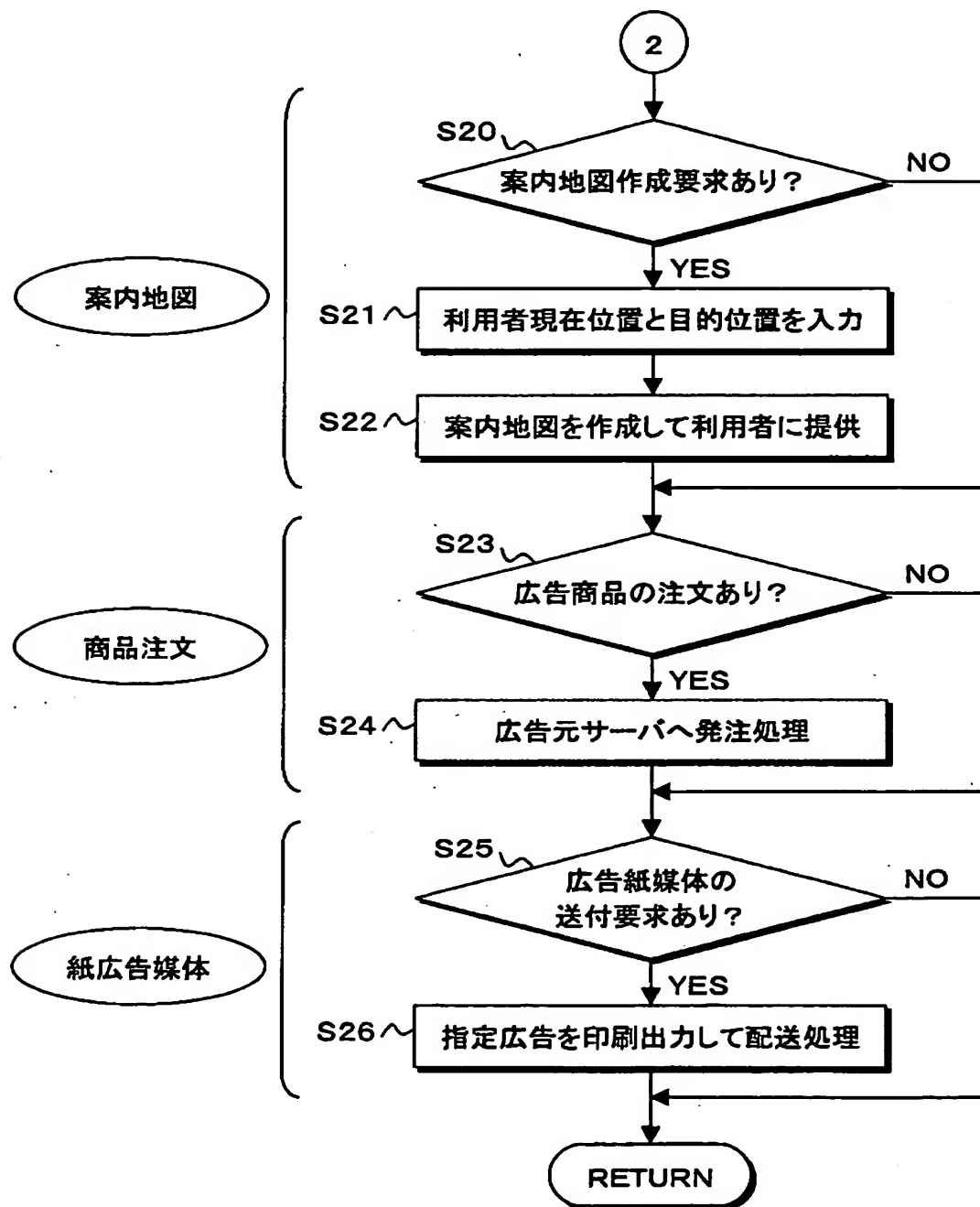
【図 12】

図11に続く契約者利用処理のフローチャート



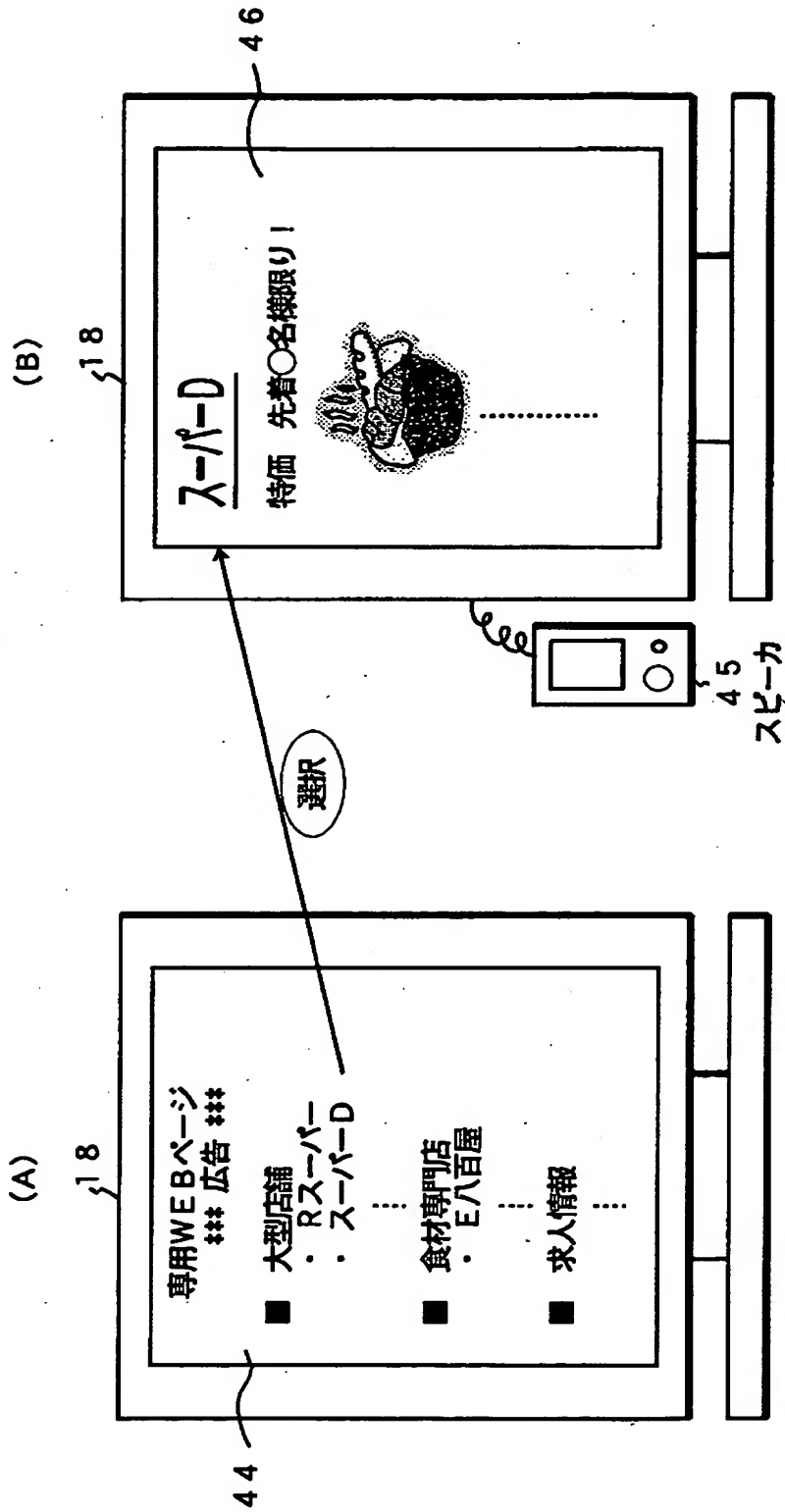
【図13】

図12に続く契約者利用処理のフローチャート



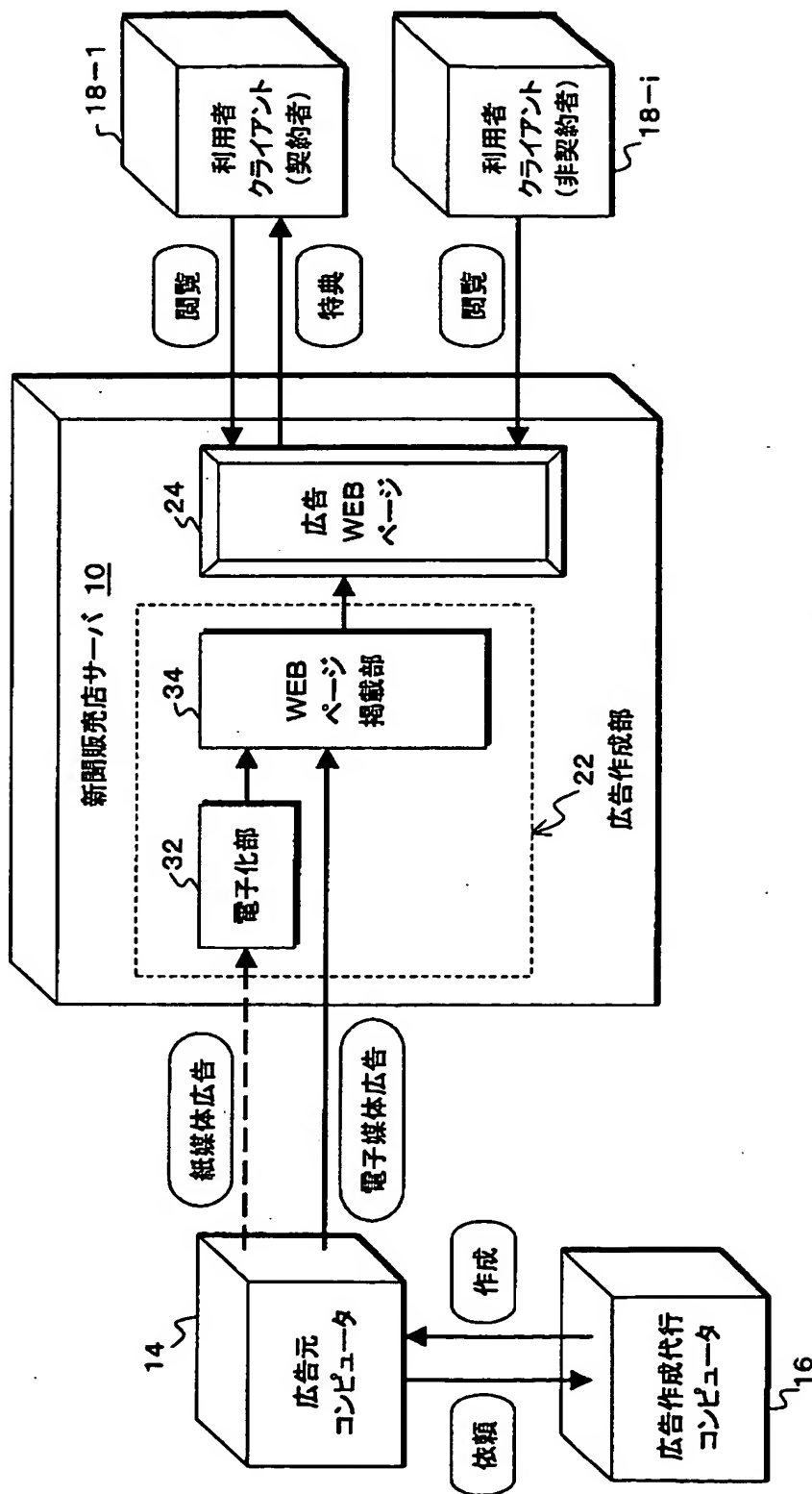
【図14】

図11のステップS1による広告閲覧画面の説明図



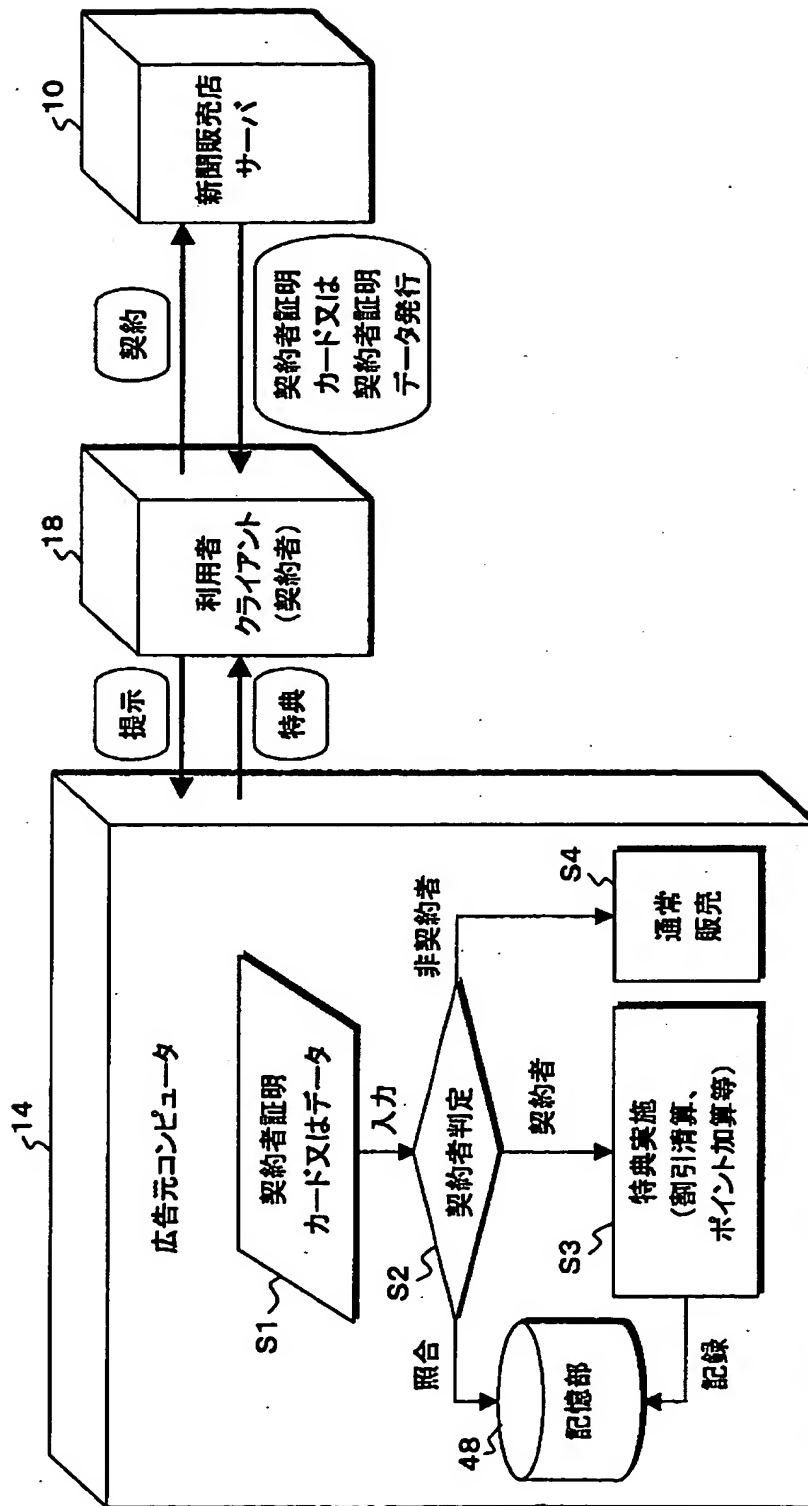
【図15】

図11のステップS3, S4による特典付与の説明図



【図 16】

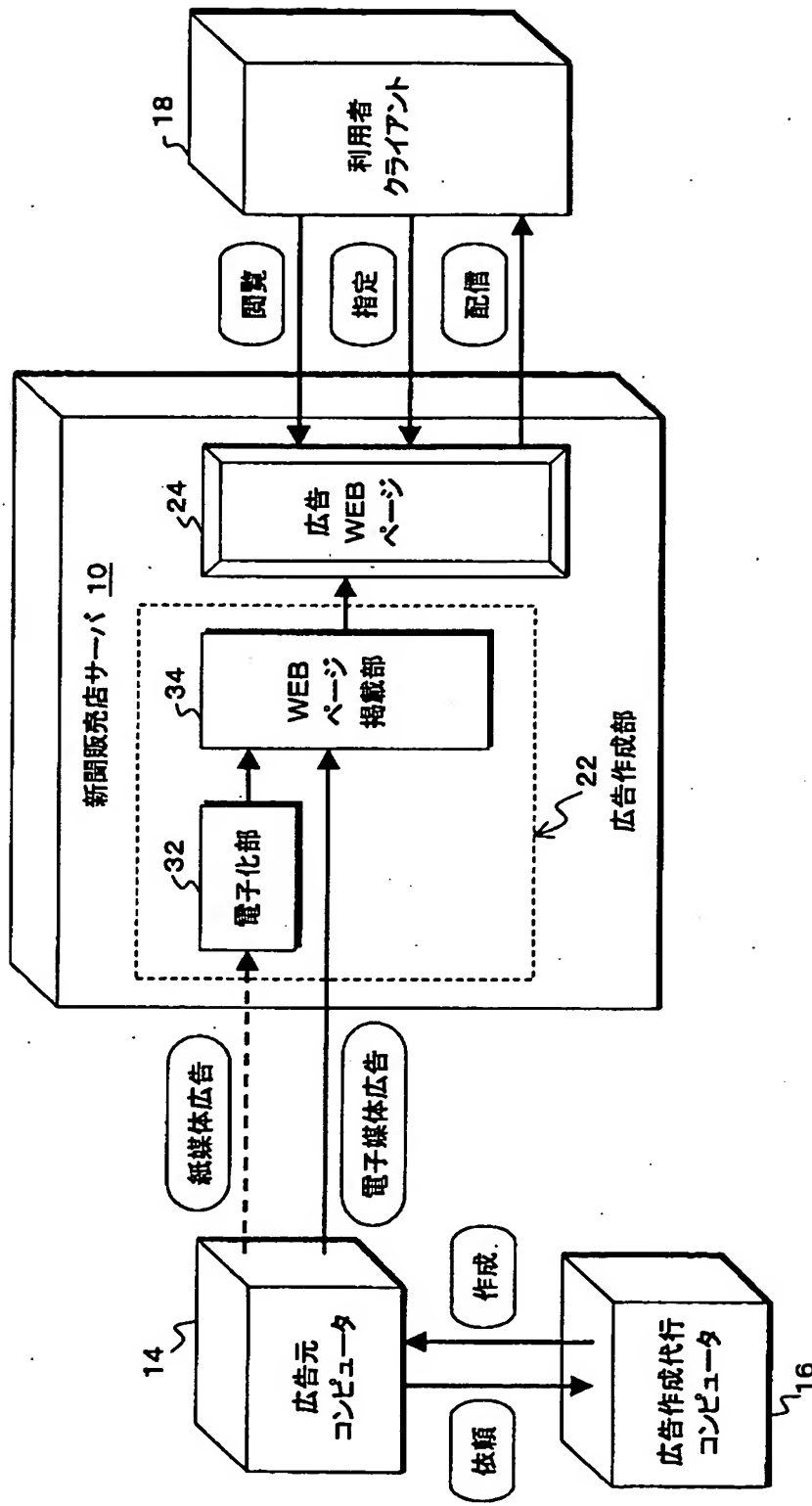
図11のステップS3、S4の特典付与による広告元コンピュータの機能説明図





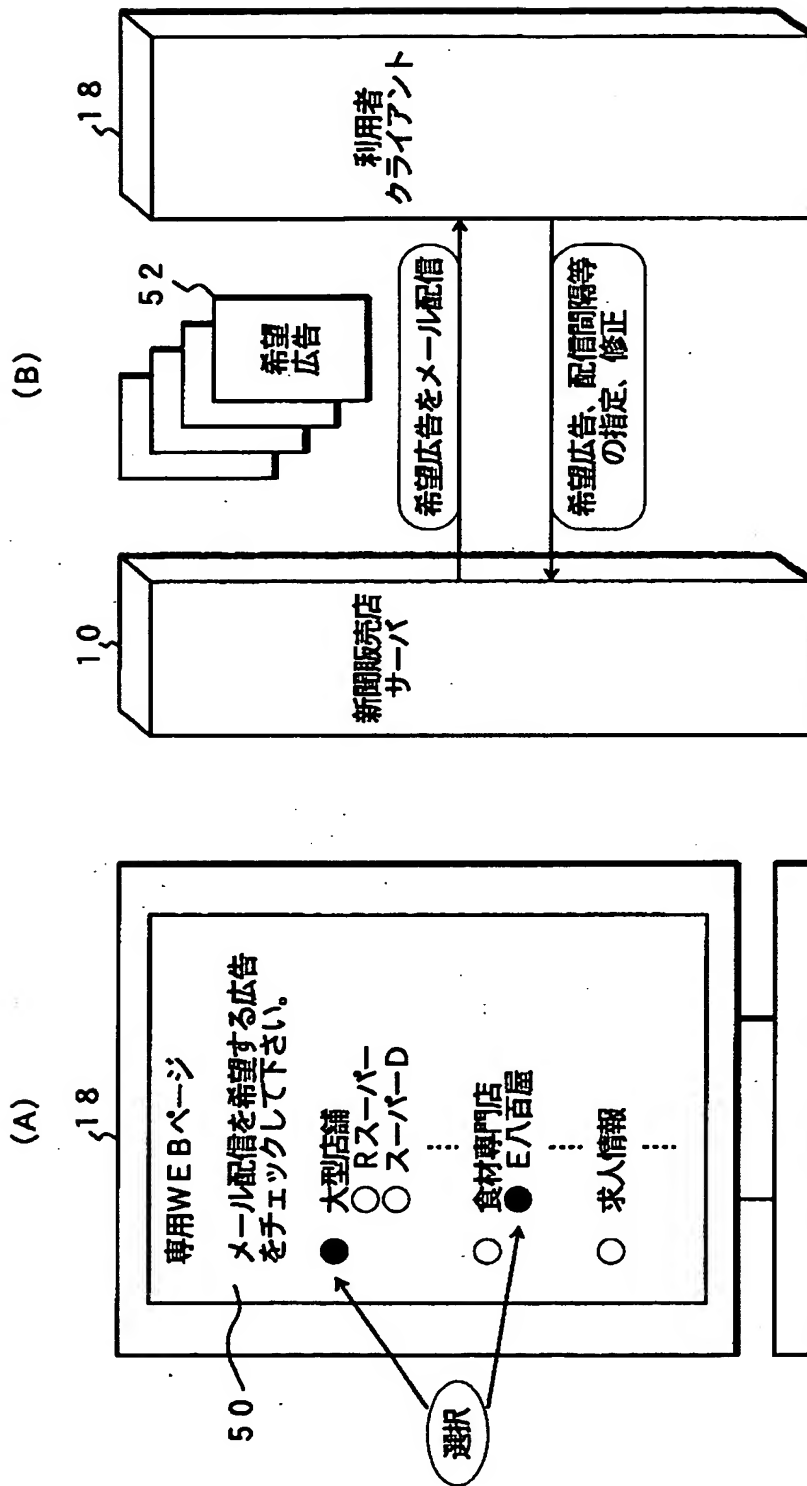
【図17】

図11のステップS5～S7による広告配信の説明図



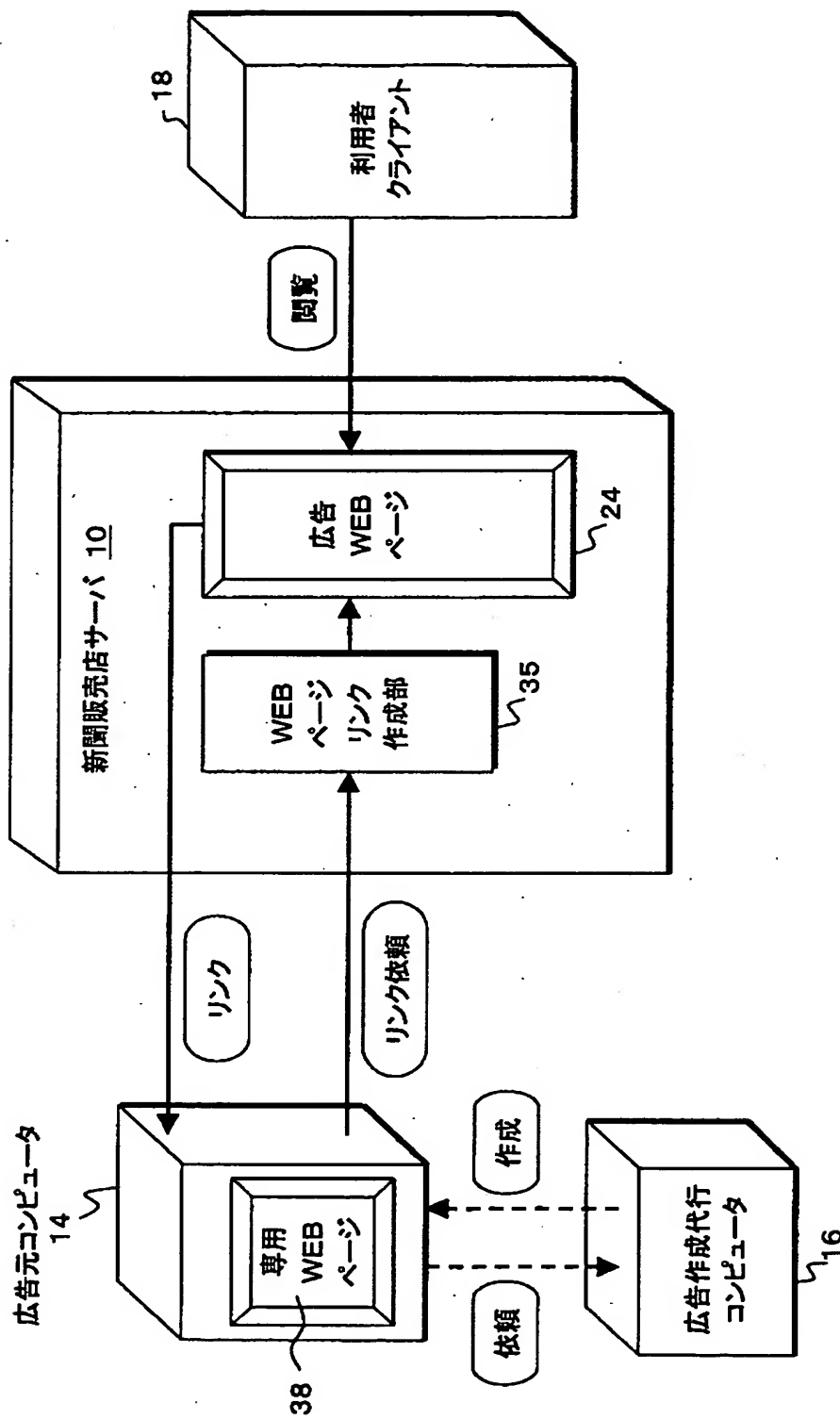
【図 18】

広告配信のためのクライアントの広告選択画面と選択指定及びメール配信の説明図



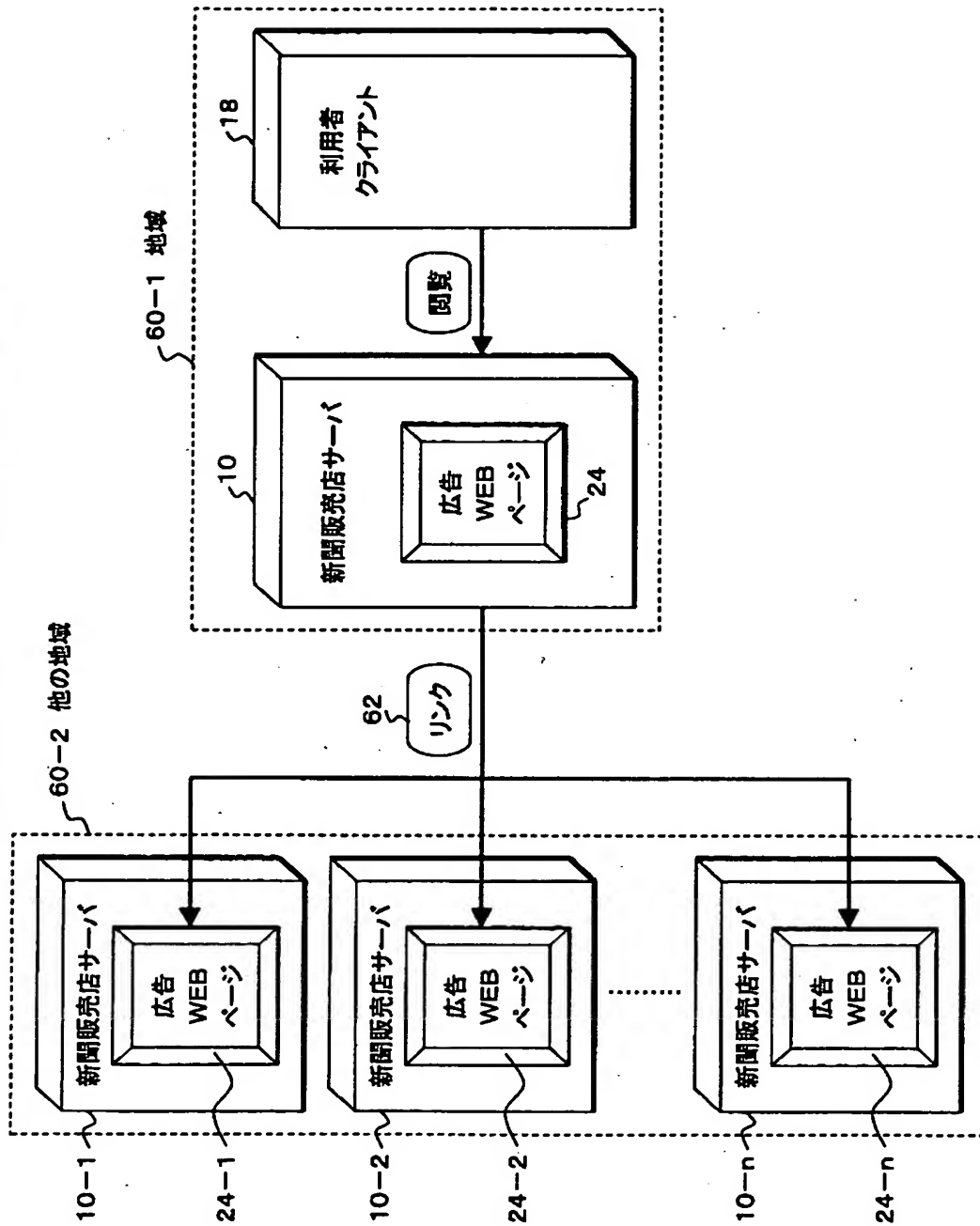
【図19】

図11のステップS8, S9による広告元リンクの説明図



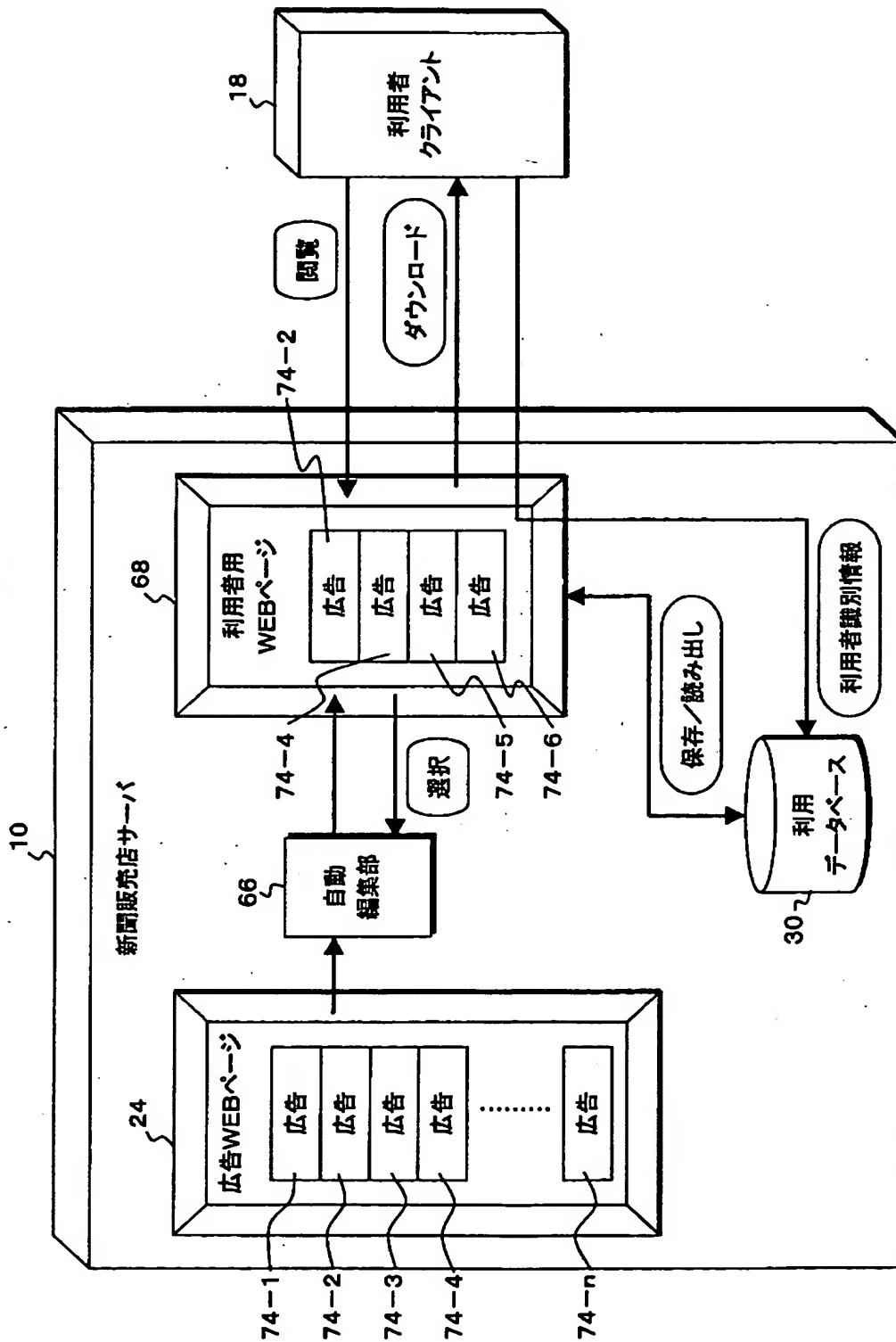
【図 20】

図12のステップS10、S11による広域リンクの説明図



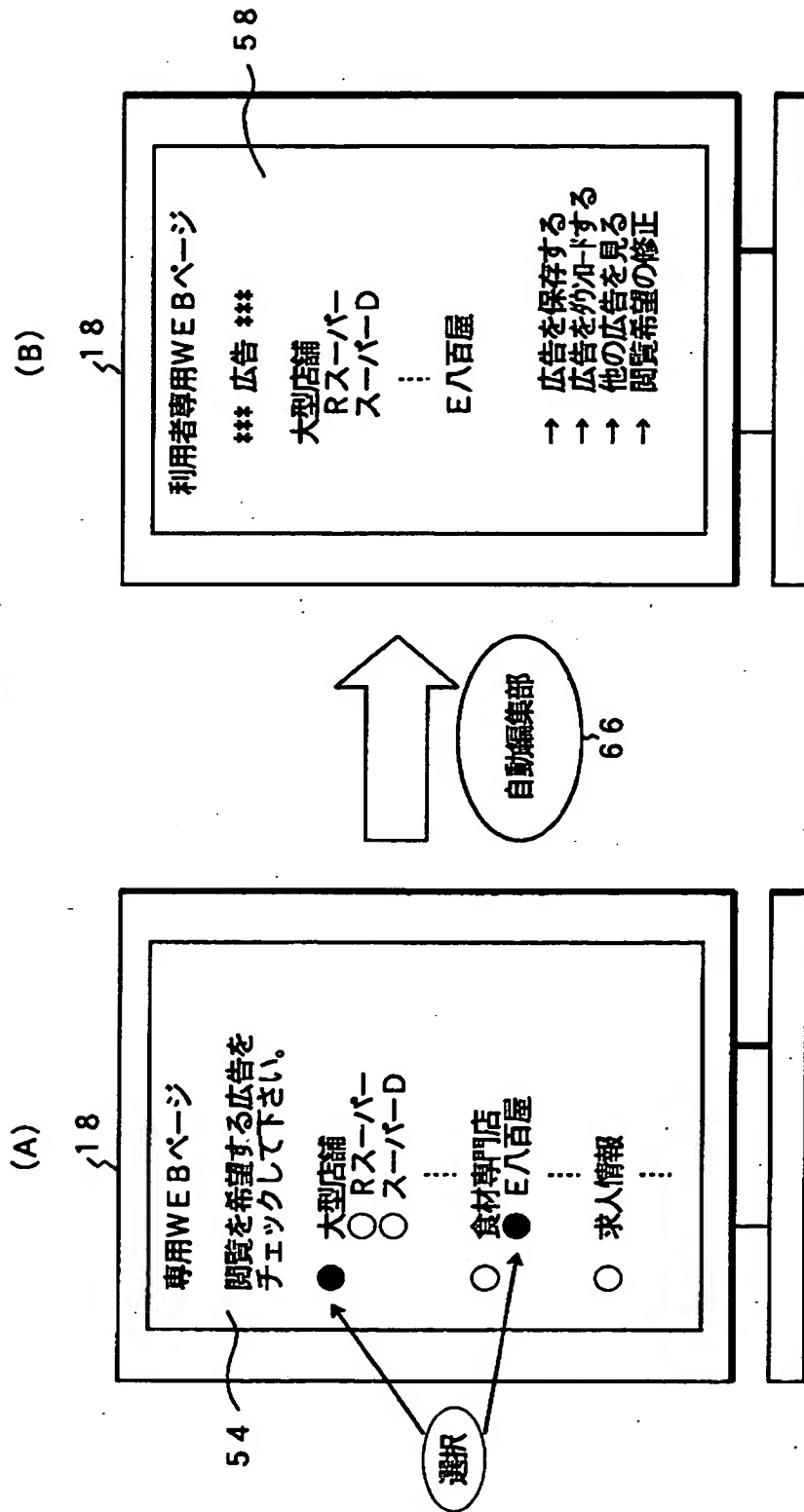
【図21】

図12のステップS12～S17による広告自動編集とダウンロードの説明図

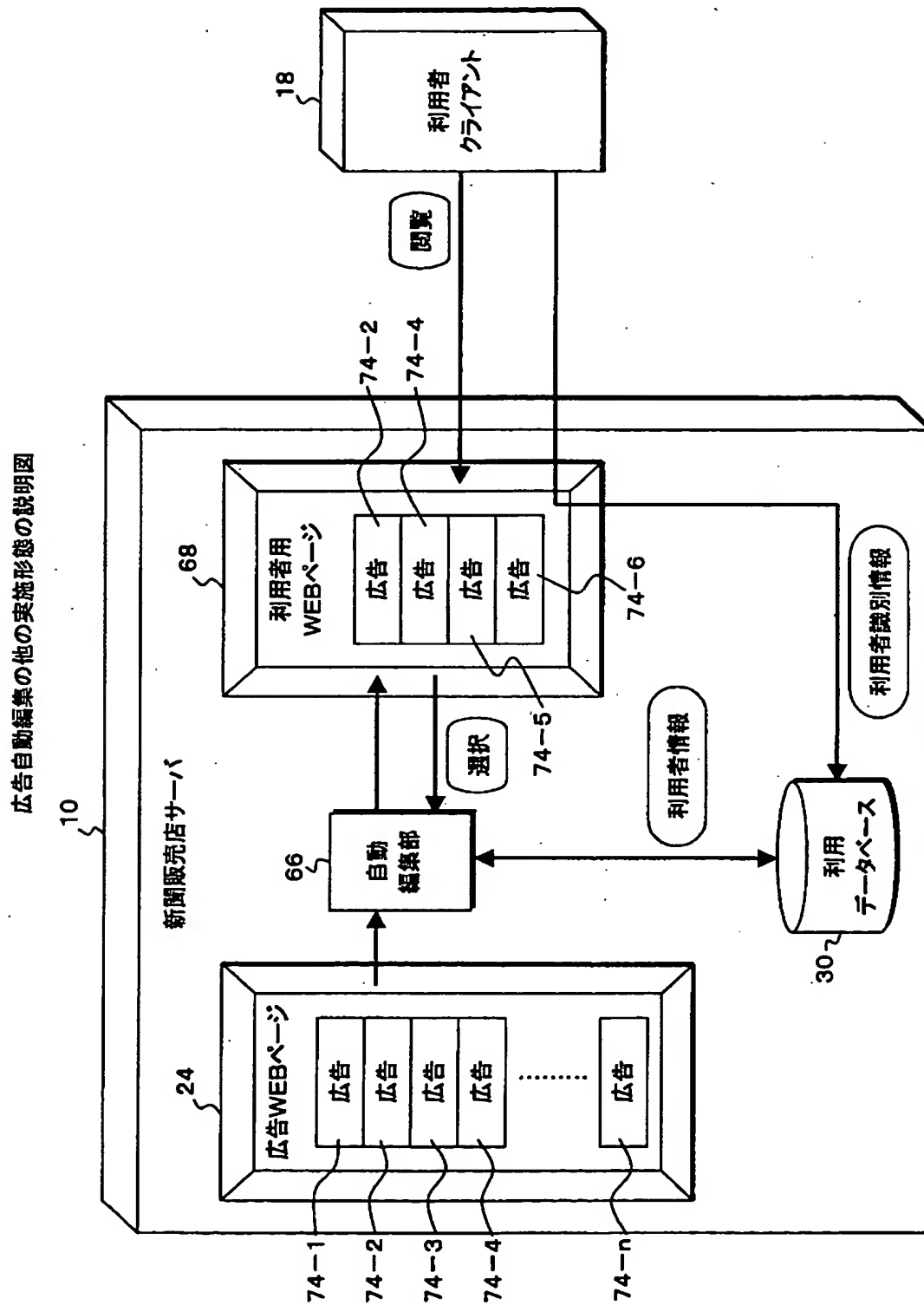


【図 22】

広告自動編集の選択画面と編集画面の説明図



【図 23】



【図24】

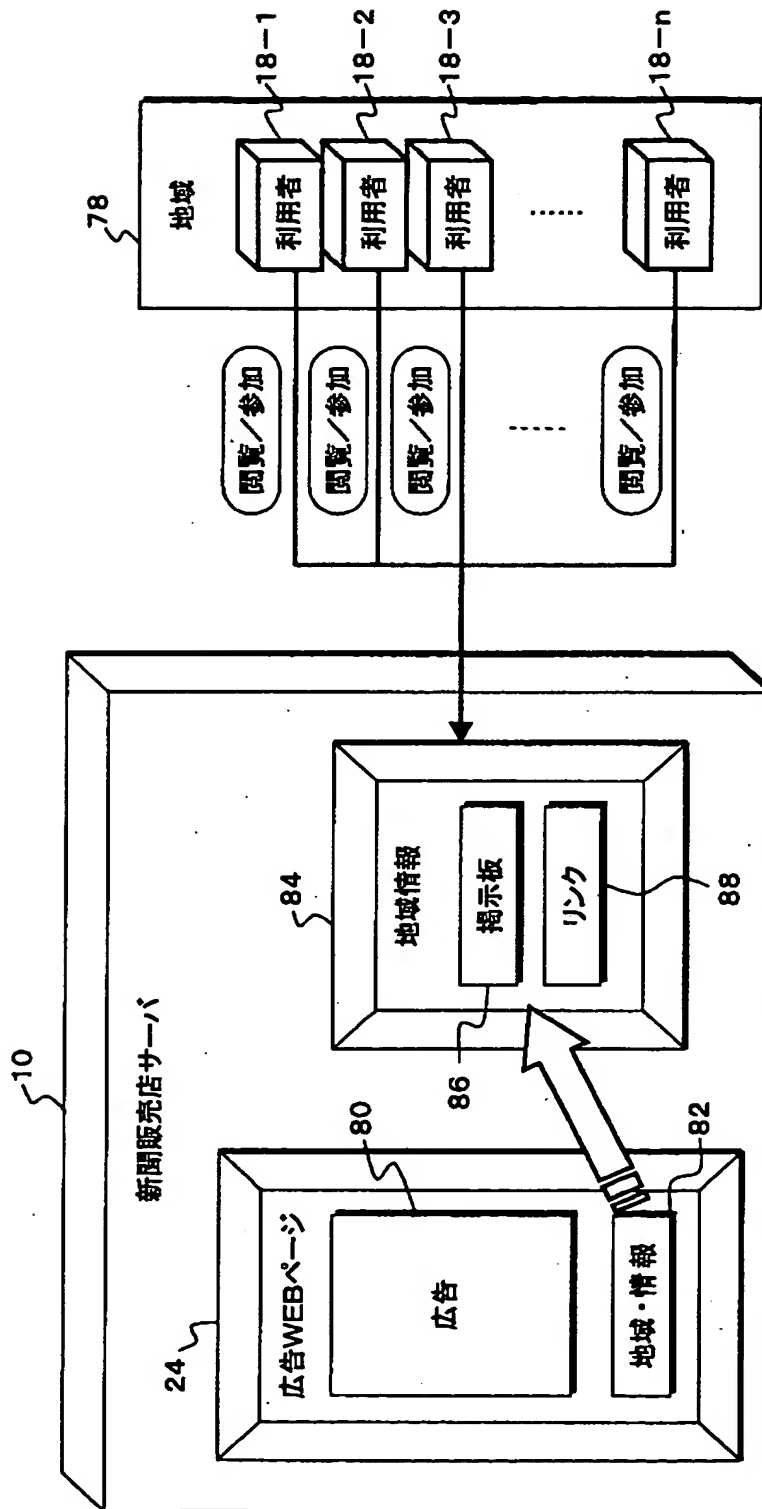
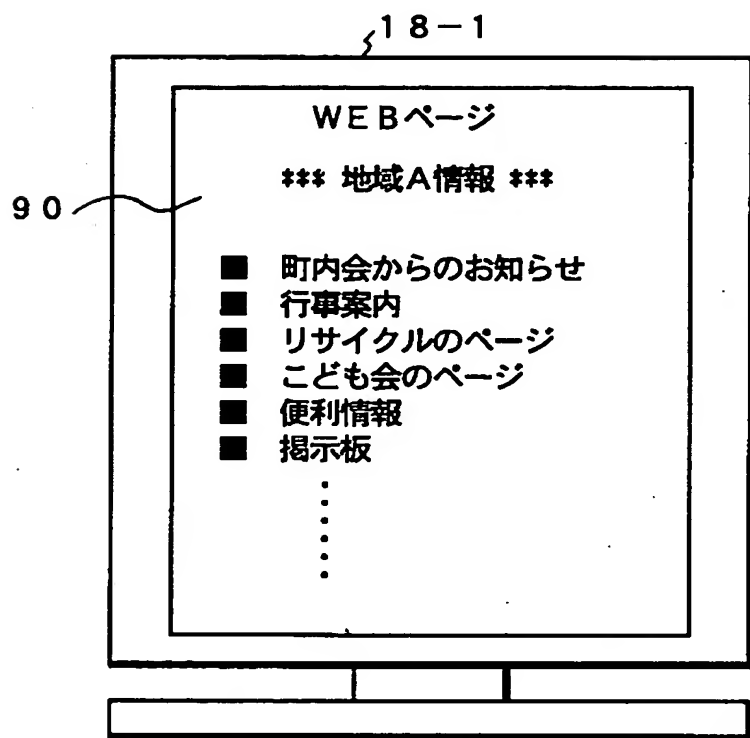


図12のステップS18, S19による地域情報閲覧の説明図



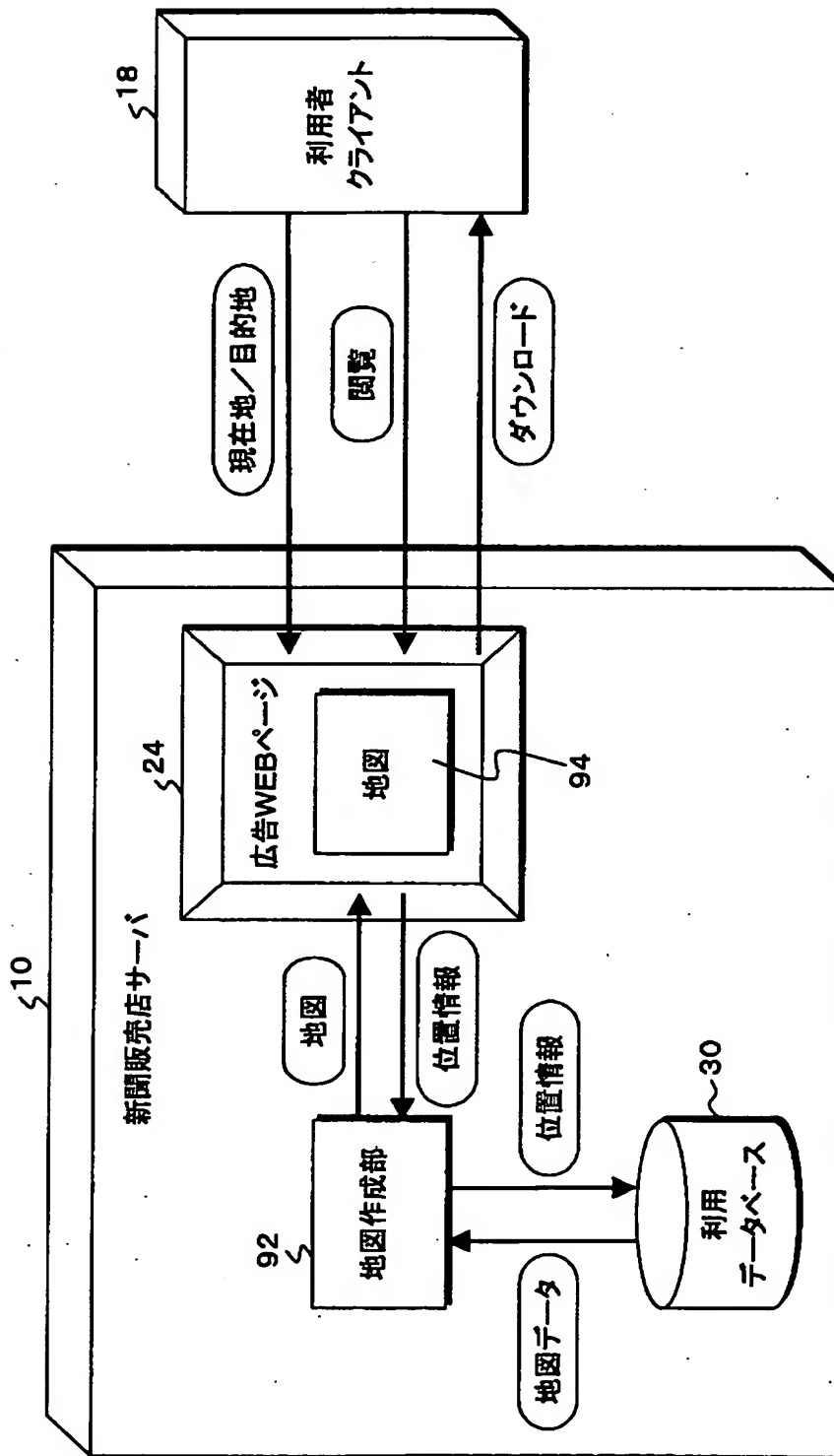
【図 2 5】

地域情報閲覧画面の説明図



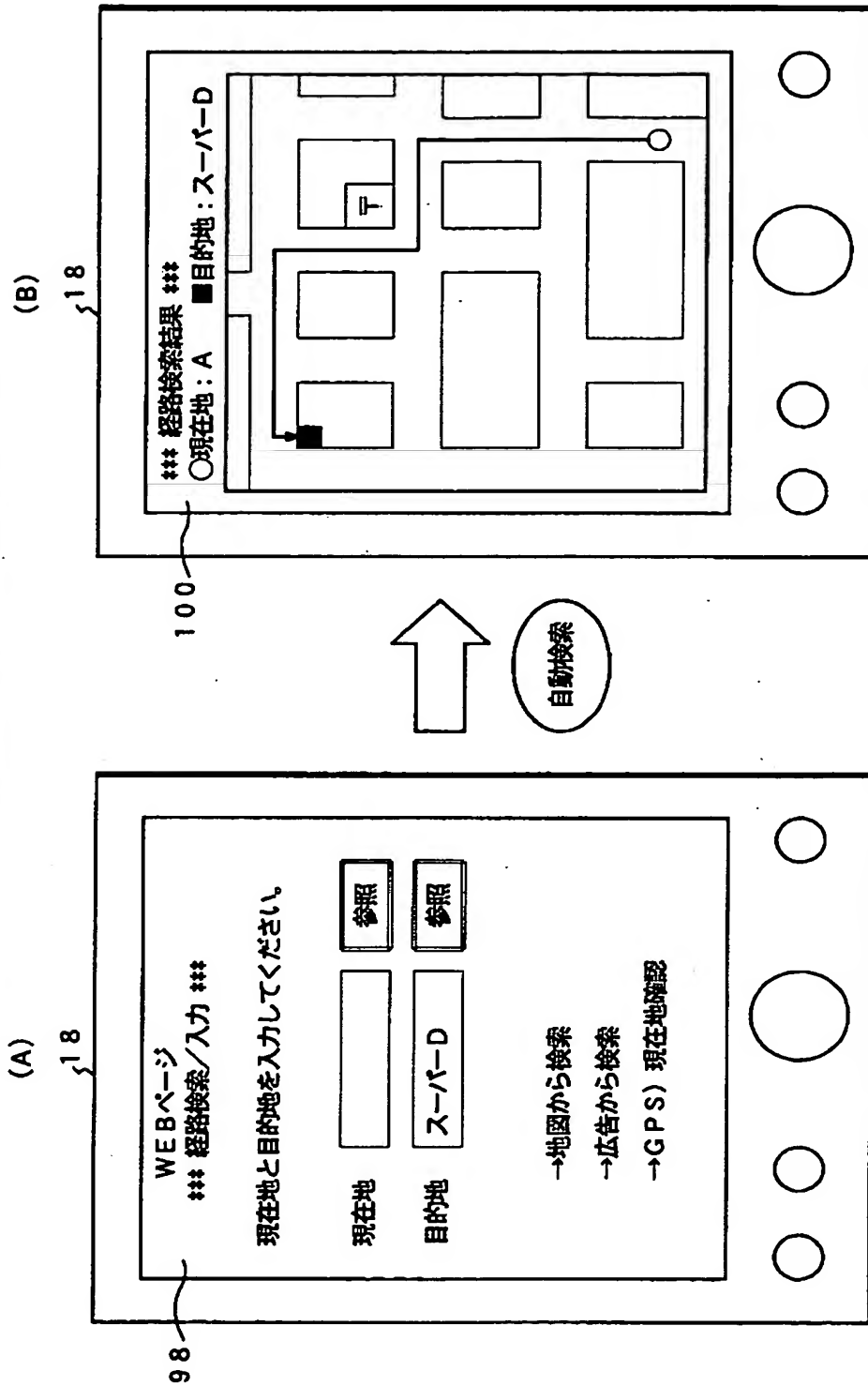
【図 26】

図13のステップS20～S22による案内地図作成の説明図



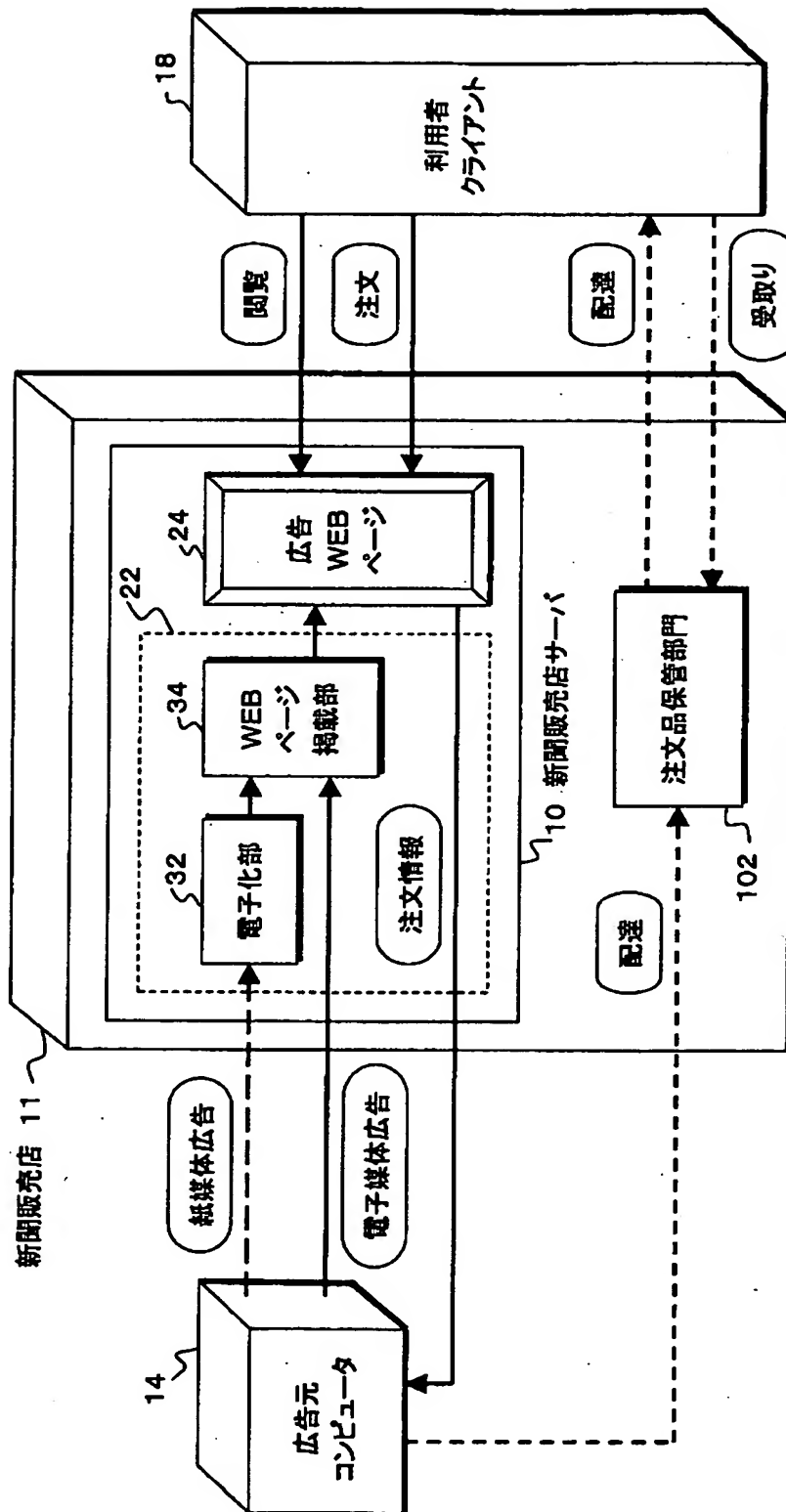
【図 27】

案内地図作成の入力指定画面と作成された案内地図画面の説明図



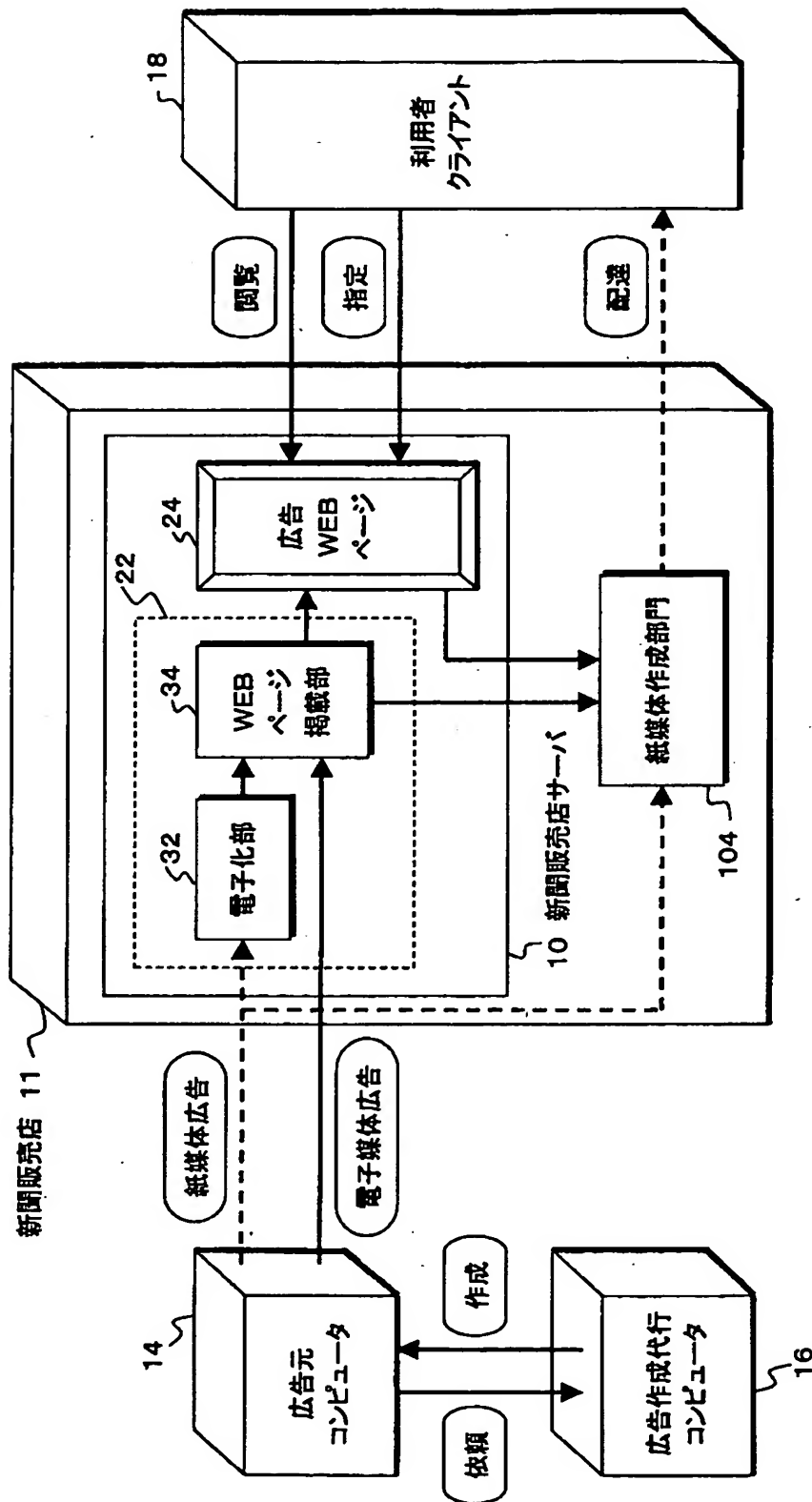
【図 28】

図13のステップS23、S24による商品注文の説明図



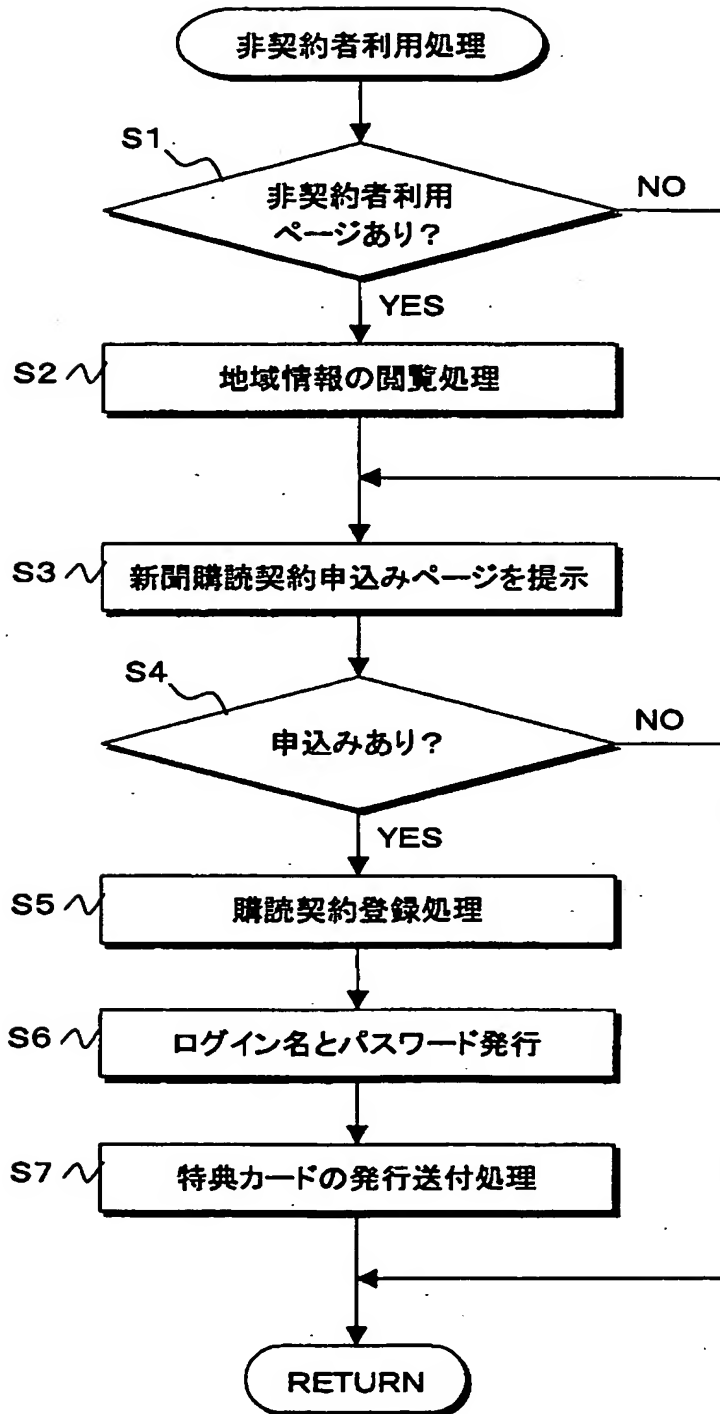
【図29】

図13のステップS25、S26による紙媒体広告配送の説明図



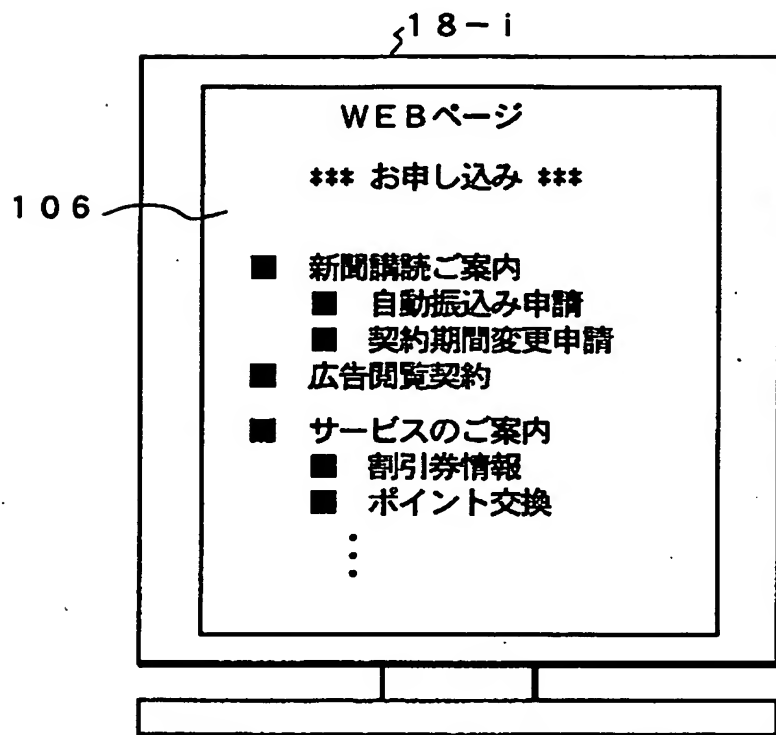
【図 3 0】

図8の非契約者利用処理の詳細を示したフローチャート

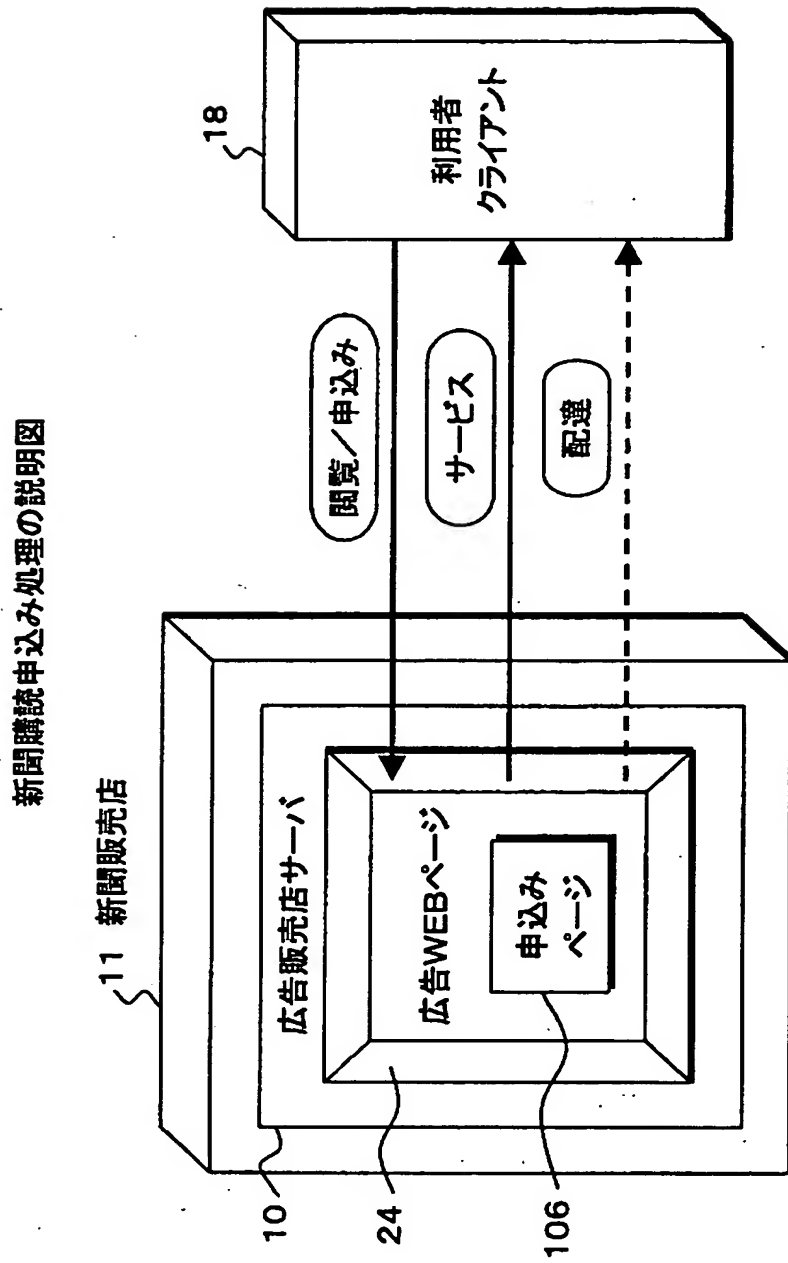


【図 3 1】

新聞購読用の申込みページの説明図



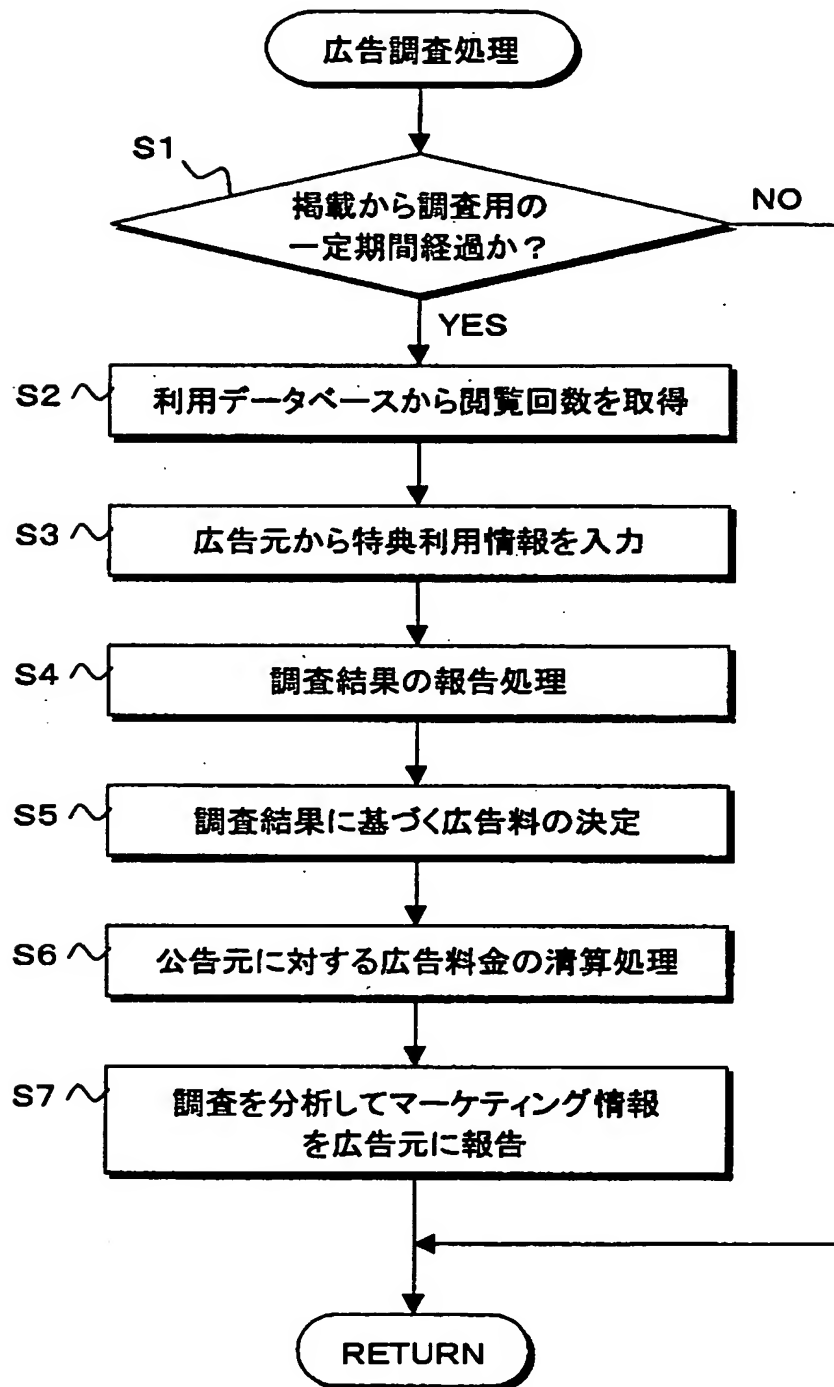
【図 32】





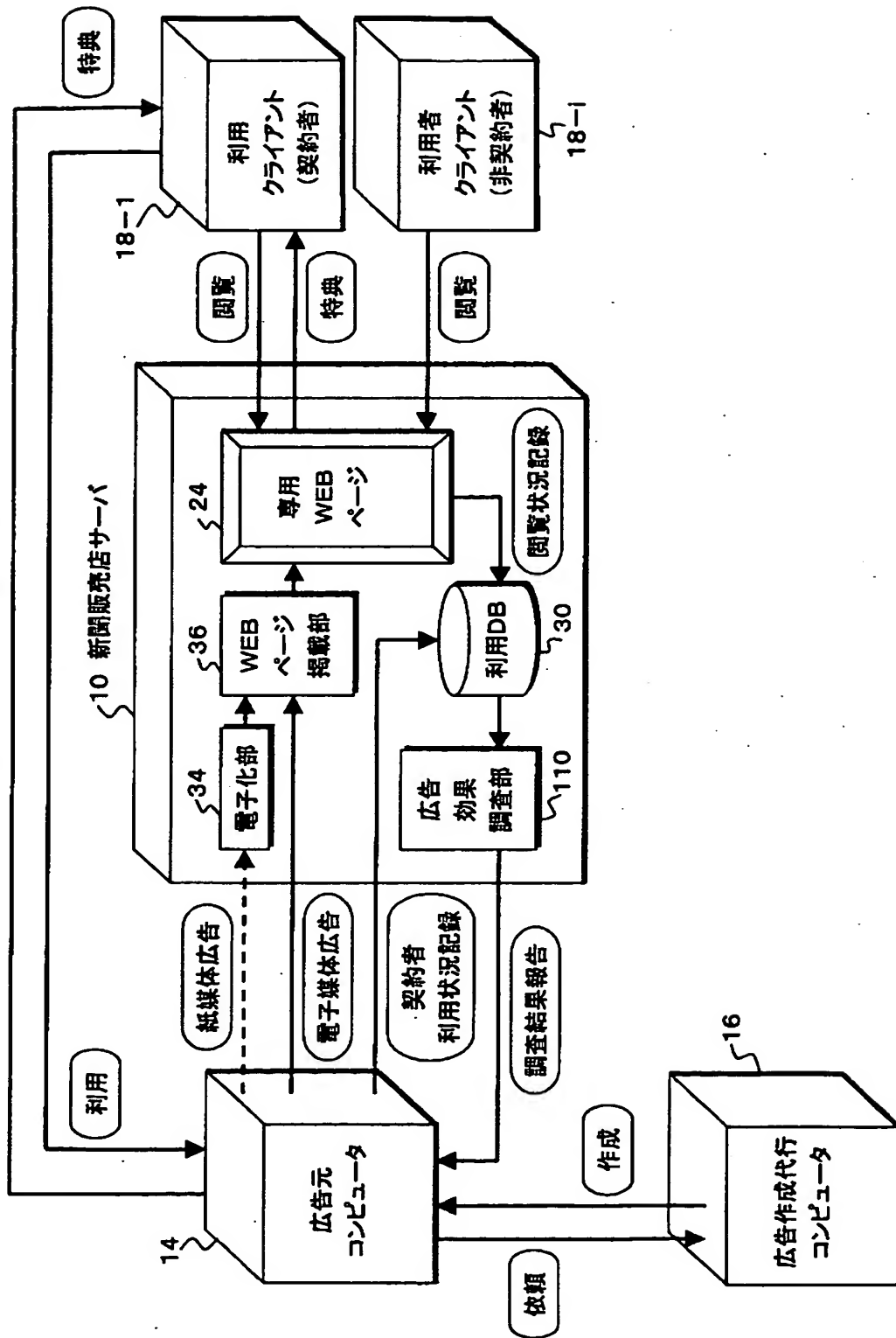
【図 3 3】

図5の広告調査処理のフローチャート

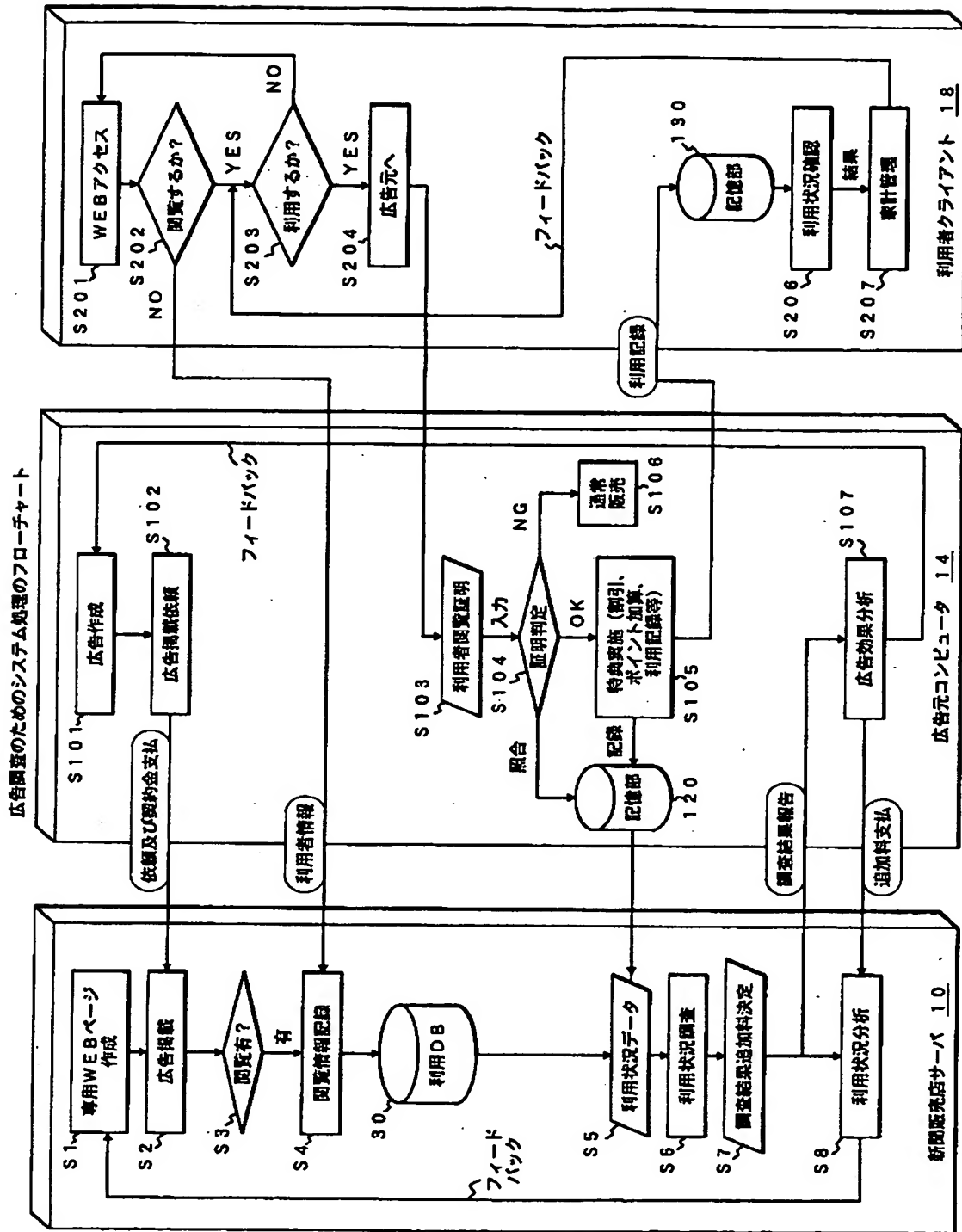


【図34】

広告調査処理のシステム機能の説明図

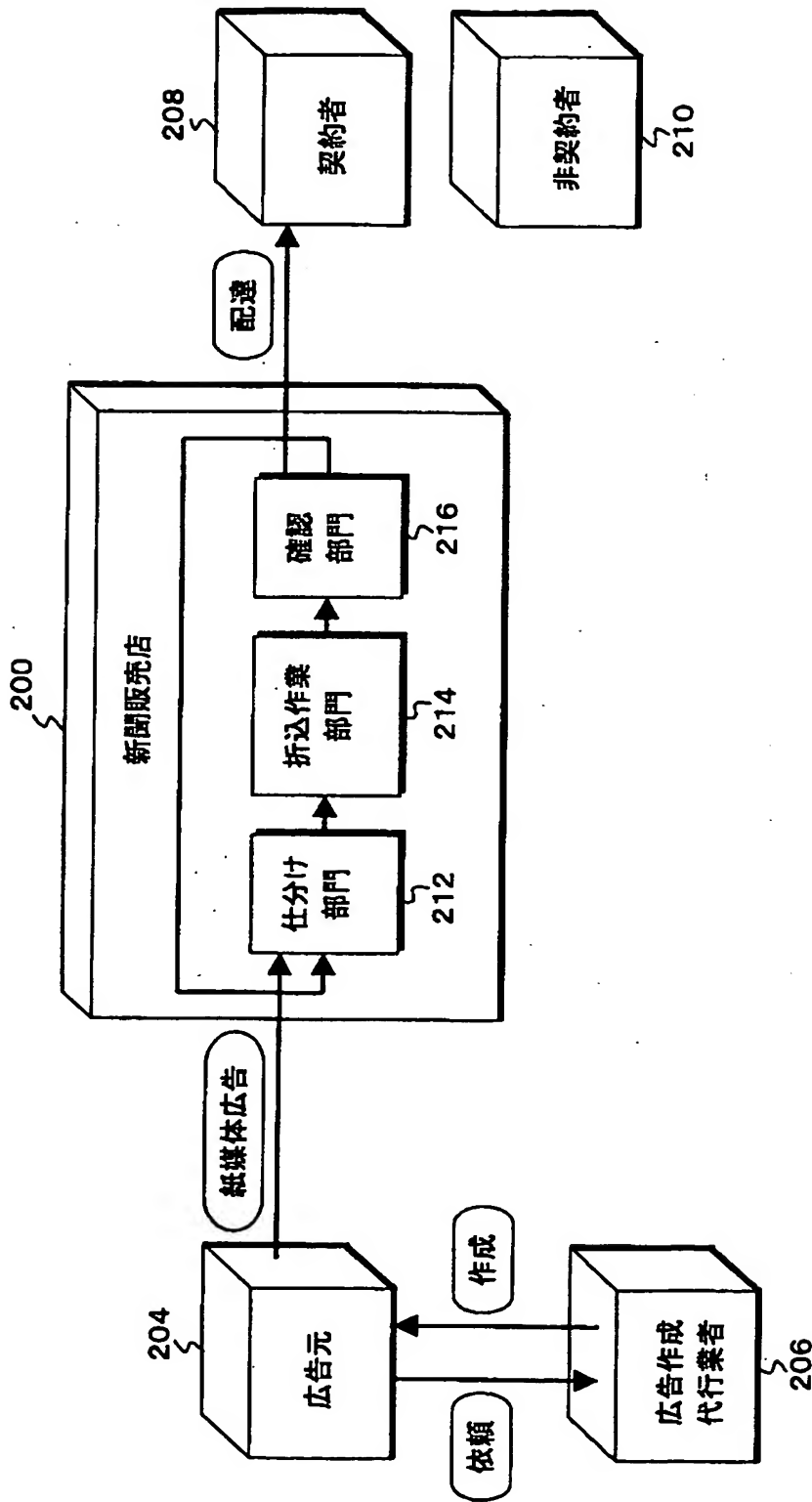


【図35】



【図 36】

従来の新聞販売店における折込み広告を利用した広告システムの説明図



【書類名】                      要約書

【要約】

【課題】新聞販売店が扱っている既存の新聞折込みによる広告システムに着目し、インターネットを利用した地域密着型の広告システムを確実に立ち上げて運用可能とする。

【解決手段】新聞販売店サーバ10は、少なくとも新聞販売店と購読契約している契約者を登録した契約者データベース28と、広告元から依頼された広告を作成して広告ウェブページ24に掲載する広告作成部22と、利用者情報を入力して契約者データベース28の契約者と判定した場合に広告ウェブページ24を公開して閲覧させる広告利用部26とを備える。

【選択図】                      図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社